

5 2019年度予算の主な事業

新規 全部もしくは一部が新たに実施する事業

(1) 町田市5ヵ年計画 17-21における主な取り組み（重点事業）

将来を担う人が育つまちをつくる

待機児童解消対策事業 5億7,574万円 (25ページ)

小規模保育所4園の整備や既存保育所4園の改修、幼稚園1園の認定こども園への移行などの取り組みにより、154人の保育サービス定員増を図り、「待機児童ゼロ」を継続します。

放課後子ども教室「まちとも」推進事業 1億7,207万円 (26ページ)

地域と学校の協働により、放課後の小学生が学習活動や体験活動などを行う放課後子ども教室「まちとも」の実施学校数を18校から26校に拡充します。

子どもクラブ整備事業 3億3,793万円 (27ページ)

小山中学校区及び鶴川第二中学校区に設置する子どもクラブの建設工事と、南町田グランベリーパーク内の子どもクラブ開設に向けた準備を進めます。また、小山田中学校区に設置する子どもクラブの検討、実施設計を行います。

冒険遊び場補助事業 3,135万円 (28ページ)

2019年5月に、市内4箇所目となる常設型冒険遊び場を、三ツ目山公園に開設します。また、補助基準額の改正を行い、冒険遊び場活動のさらなる充実を図ります。

新規 えいごのまちだ事業 1億8,553万円 (29ページ)

「町田ならではの英語教育」を強かに推進し、町田の未来を支える人材を育成すると同時に、「英語教育で選ばれるまちだ」を実現します。

新規 教育の情報化推進事業 5億6,620万円 (30ページ)

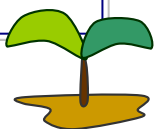
学校のICT環境の充実を図り、ICTを活用した効果的な授業を実施するため、機器の配備やシステムの構築を行います。また、個に応じた学びの最適化やソフトウェアを活用した協働学習の充実などについて実証を行い、ICT教育の方法論を確立するために「町田発未来型教育 実証モデル事業」を実施します

町田第一中学校改築事業 7億2,871万円 (31ページ)

既存校舎の解体及び新校舎の建設工事に着手します。また、校庭の代替施設として使用している後田グラウンドの外周部分の整備を行います。

鶴川第一小学校改築事業 3億1,684万円 (32ページ)

運動場及び外構の整備を行います。また、旧体育館棟の解体及び第二運動場の整備を行い、事業を完了します。



※事業内容の詳細は、表示されているページをご覧ください。

安心して生活できるまちをつくる

新たな地域協働推進事業 2,421万円 (33ページ)

市内活動団体支援のため、町田市地域活動サポートオフィスを2019年4月に開設します。

玉川学園コミュニティセンター整備事業 3億9,605万円 (34ページ)

玉川学園コミュニティセンターの建替工事及び(仮称)玉川学園前駅デッキを整備します。

よりよい介護サービス利用のための環境づくり 5億8,358万円 (36ページ)

介護人材の確保、育成、定着のため、介護人材開発事業に対する支援を行います。また、地域密着型サービス施設の整備に対する支援を行います。

がん予防対策推進事業 2億8,263万円 (37ページ)

がんの予防・早期発見・早期治療を目的に、5種類のがん検診等を実施します。

温浴施設整備事業 6,542万円 (38ページ)

新たな熱回収施設(焼却施設)で発生する熱エネルギーを有効活用するため、幅広い世代の健康増進と交流を図る温浴施設を、室内プールの付帯施設として整備します。

建築物耐震化促進事業・ブロック塀等撤去助成事業

4億4,039万円 (39ページ)

住宅と緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を促進するため、建築物の耐震化費用を助成します。また、ブロック塀等の倒壊を防ぐため、塀の撤去費用を助成します。

汚水管渠地震対策事業(下水道事業会計) 1億3,440万円 (40ページ)

汚水管の耐震化設計を行います。また、避難施設にマンホールトイレシステムを整備します。

雨水管渠整備事業(下水道事業会計) 2億4,400万円 (41ページ)

浸水被害を軽減するため、雨水管を整備します。



賑わいのあるまちをつくる

新規 シティプロモーション推進事業 1億3,715万円 (42ページ)

まちだ〇ごと大作戦 18-20で市民等の「やってみたい夢」を実現し、地域の活力を高めるとともに、定住・来訪促進のための情報発信をします。

南町田駅周辺地区拠点整備事業 26億6,952万円 (44ページ)

2019年秋のまちびらきに向け、駅・自由通路、公園、商業施設、パークライフ・サイトの一体的再整備を進めるとともに、駅北口広場のバス乗降場の屋根を設置します。

※事業内容の詳細は、表示されているページをご覧ください。

東京2020オリンピック・パラリンピック等国際大会推進事業**3,719万円** (46ページ)

ラグビーワールドカップ 2019 や東京 2020 大会に対する市民の関心を高め、まちを挙げた盛り上がりにつなげていきます。

町田市文化プログラム推進事業**2,123万円** (48ページ)

東京 2020 大会等を契機に「いつでも、どこでも、だれでも、あらゆる文化を楽しむまちづくり」に向けて町田市独自の文化プログラムを推進します。

スポーツをする場の環境整備事業**3,913万円** (49ページ)

市民誰もがスポーツに親しめる環境の創出のため、小山上沼公園内の二次調整池及び成瀬鞍掛スポーツ広場の整備を行います。

新規 町田薬師池公園四季彩の杜整備事業**15億9,839万円** (50ページ)

観光拠点としての魅力を高めるため、2020年4月の西園のオープンに向けて、西園内に案内所やカフェ・レストラン等を備えたウェルカムゲートの整備を進めます。

野津田公園スポーツの森整備事業**14億120万円** (52ページ)

陸上競技場の観客席増設に伴う造成を進め、観客席の増設工事に着手します。また、公園の拡張区域において、多目的グラウンドの造成工事に着手します。

新規 芹ヶ谷公園芸術の杜・(仮称)国際工芸美術館整備事業**4億8,344万円** (54ページ)

”芸術の杜”という大きなテーマの中で、芹ヶ谷公園と(仮称)国際工芸美術館を一体的に整備するための設計等を行います。

香山緑地整備事業**2億2,352万円** (56ページ)

鶴川地域の観光拠点の一つとするため、書院造の建物と庭園を活かした緑地の整備に向け、建物の耐震改修実施設計及び庭園・基盤整備の設計を行います。

高ヶ坂縄文時代遺跡公園整備事業**4,020万円** (57ページ)

国指定史跡である高ヶ坂縄文時代遺跡のうち、八幡平遺跡の遺跡公園整備を行います。

新規 中心市街地活性化推進事業**1,145万円** (58ページ)

中心市街地に新たな賑わいを創出することを目的として、原町田大通りの利活用などに向けた公共空間利活用実証実験などの取り組みを進めます。

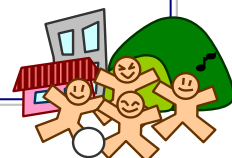
小田急町田駅周辺地区整備事業**900万円** (60ページ)

多摩都市モノレール延伸を前提とした町田駅交通ターミナルの整備、駅前の新たな賑わいや交流の拠点の整備、集客機能の導入などの実現に向けた検討を行います。

JR町田駅南地区再整備事業**900万円** (61ページ)

市営原町田一丁目駐車場周辺において、複合的な機能を持つ拠点を整備するため、市街地再開発事業等の検討及び再開発準備組織を設立します。

※事業内容の詳細は、表示されているページをご覧ください。



暮らしやすいまちをつくる

多摩都市モノレール延伸事業 3 億 9,328 万円 (62 ページ)

多摩都市モノレール延伸に向けて、バス路線網再編、町田駅を含む沿線の拠点構築に向けた検討、導入空間の調査等を進めます。また、将来の基盤整備に備え基金積立を行います。

小田急多摩線延伸促進事業 1,000 万円 (64 ページ)

小田急多摩線の延伸事業実施に向けた必要な調査を相模原市と共同で実施します。

路線バス利用促進事業 1 億 428 万円 (65 ページ)

2018 年度に引き続き、小山田桜台から唐木田方面にワゴン車を使用した運行を継続し、2019 年 8 月から、小型バスを使用した運行を開始します。

地域コミュニティバス運行事業 2,338 万円 (66 ページ)

現路線の運行に必要な経費の補助を行います。新たな公共交通サービスの導入に向けて、相原地区、つくし野地区、本町田地区の小型乗合交通による実証実験運行を行います。

里山環境整備事業 3,717 万円 (67 ページ)

良好な里山環境の実現のために、「町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン」を推進します。

循環型施設整備事業 41 億 2,620 万円 (68 ページ)

循環型社会の構築に向け、熱回収施設等の整備、資源ごみ処理施設整備に向けた準備を進めます。

(仮称) 町田スポーツ公園整備事業 1 億 205 万円 (70 ページ)

最終処分場の池の辺地区について、公園を整備するための実施設計を行います。

鶴川駅周辺街づくり事業 1 億 4,690 万円 (72 ページ)

「鶴川駅周辺再整備基本方針」に基づき、北口交通広場及び南北自由通路の基本設計等を行い、南口土地区画整理事業の事業認可を取得します。

相原駅周辺街づくり事業 1 億 2,325 万円 (74 ページ)

町田街道の立体交差化に伴い、相原駅東口のアクセス路整備のための設計及び用地取得を行います。また、西口駅前の土地利用について検討します。

忠生 579 号線新設・忠生 630 号線改良事業 7 億 4,474 万円 (75 ページ)

円滑な通行のため、都市計画道路と生活道路を結ぶ準幹線道路を整備します。

都市計画道路整備事業 6 億 6,740 万円 (76 ページ)

円滑に移動できる道路網を実現するため、都市計画道路を整備します。



※事業内容の詳細は、表示されているページをご覧ください。

(2) その他の取り組み（公共施設等維持保全事業、行政経営改革プランなど）

公共施設等維持保全事業 **35億1,797万円** (78ページ)

施設の安全性の確保と財政負担の平準化を図るため、計画的に施設の長寿命化工事を行います。

公共施設等マネジメント事業 **1,061万円** (80ページ)

公共施設再編計画に基づき、短期再編プログラムを計画的かつ効果的に推進します。

小・中学校適正規模・適正配置等推進事業 **1,265万円** (81ページ)

年少人口が減少する将来を見据えて、児童・生徒がより良い学習環境で学ぶことができるよう、小・中学校の適正規模・適正配置を推進します。

大地沢青少年センターあり方見直し事業 **700万円** (82ページ)

大地沢青少年センターのあり方見直しとして、2021年7月の民間活力の導入開始に向けて、最も効果的な方法を決定します。

新規 **おうちでごはん事業** **895万円** (83ページ)

困難を抱えた子育て世帯への支援として、2019年6月から、ひとり親家庭へ手作りのお弁当を配達するとともに、相談支援を行います。

新規 **病児・病後児保育事業** **1億3,134万円** (84ページ)

病児保育施設を町田地区に整備し、看護師が保育施設等の病児を迎えにいく、「病児保育お迎え事業」を新たに開始します。

新規 **学校給食費公会計化事業** **1,778万円** (86ページ)

町田市立小学校の学校長が「私会計」として徴収・管理していた給食費を、2020年4月から市の予算に計上して徴収・管理する「公会計」に移行するための準備を行います。

新規 **教員の働き方改革推進事業** **1億4,660万円** (87ページ)

「町田市立小学校における働き方改革プラン」に基づいて、教員の働き方改革を推進します。

新規 **小・中学校体育館空調設備設置事業** **9,950万円** (88ページ)

小・中学校の体育館に空調設備を設置するため、中学校20校、小学校7校の実施設計を行います。

新規 **総合体育館映像装置整備事業** **1億7,435万円** (89ページ)

競技スポーツの場の整備のため、ふるさと納税を活用して総合体育館メインアリーナに大型映像装置を整備し、2019年12月から供用開始します。

新規 **鉄道駅ホームドア整備補助事業** **1,000万円** (90ページ)

小田急線及びJR横浜線の町田駅のホームドア整備に係る事業費の補助を行います。2019年度は小田急線町田駅2番線ホームの補強工事に補助を行います。

新規 **考古・歴史・民族資料活用事業** **562万円** (91ページ)

2019年6月の町田市立博物館閉館を機に、資料の新たな活用策として、インターネット上で考古・歴史・民俗資料を閲覧できるシステム「町田デジタルミュージアム」を構築します。

※事業内容の詳細は、表示されているページをご覧ください。

件名	待機児童解消対策事業					
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
575,736		287,939	127,936	65,000	0	94,861

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 367 ページ

町田市では、2015年4月から開始された子ども・子育て支援新制度により策定した「町田市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、保育施設整備を進めています。

2018年度に0歳児から2歳児を対象とする小規模保育所を10園整備するなどして、2019年4月時点の「待機児童ゼロ」を達成する予定です。しかし、2019年中に新築マンション建設等や小規模保育所の3歳以降の受入などで新たな保育ニーズが発生する見込みです。

そこで、2020年4月以降も待機児童が出ないよう、2019年10月から始まる幼児教育・保育の無償化による影響も注視しながら、施設整備を行い、子育て世帯の移住及び定住を促進していきます。

【事業の内容】

- ①新たな0歳児から2歳児の保育ニーズの発生が見込まれる町田地区・鶴川地区に、小規模保育所を4園整備するために、施設整備費を補助します。
- ②③2018年度に整備する小規模保育所の卒園児を受け入れる連携施設の3歳児から5歳児の定員を増やすため、既存認可保育所の改修や幼稚園の認定こども園への移行にかかる施設整備費を補助します。

■2019年度施設整備予定

事業内容	地区	定員数	定員増		開所予定
			うち 3歳児未満		
①小規模保育所整備費補助	町田	19人×3園	57人	57人	2020年4月
	鶴川	19人×1園	19人	19人	
②既存保育所改修整備費補助	南	12人×4園	48人	0人	
③認定こども園施設整備費補助	鶴川	30人×1園	30人	0人	
合計			154人	76人	
保育サービス定員(2020年4月予定)			8,406人	3,624人	

【事業費及び特定財源】

(単位:千円)

事業内容	事業費	財源内訳			
		国庫補助金	都補助金	市債	一般財源
①小規模保育所整備費補助	176,000	85,332	54,000	0	36,668
②既存保育所改修整備費補助	140,000	64,857	33,517	0	41,626
③認定こども園施設整備費補助	139,563	63,800	21,931	43,000	10,832
※ つるかわ保育園増改築整備費補助	120,173	73,950	18,488	22,000	5,735
合計	575,736	287,939	127,936	65,000	94,861

※16人分の定員増となる増改築工事は2018年度に完了

問合せ先	子ども生活部 子育て推進課長 鈴木	電話	724-4468
------	-------------------	----	----------

件名		放課後子ども教室「まちとも」推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
172,071		0	92,708	0	0	79,363

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 379 ページ

2009年度から小学生の放課後の遊び場づくりを推進するために開始した「まちとも」は、2017年度から小学校の余裕教室等を活用し、地域と学校を主体とした運営協議会の運営による、遊びや学習活動、体験活動などを実施する「放課後子ども教室『まちとも』」として事業内容を一新しました。学童保育クラブと連携した一体型の事業として、2017年度から5年間で小学校全42校において実施し、小学生の放課後の過ごし方の選択肢を充実させていきます。

【事業の内容】

- ①新たに8校で開始し、放課後子ども教室「まちとも」事業を26校に拡大します。
- ②小学校26校の運営協議会に放課後子ども教室「まちとも」事業を業務委託し、各運営協議会が遊びや学習活動、体験活動などを実施します。
- ③2020年度から開始する8校について、2019年度内に運営協議会を立ち上げ、翌年度から「まちとも」事業を円滑に実施できるよう、放課後学習用ICT機器等必要な備品を市で購入し、運営協議会に貸与します。

【スケジュール】

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
放課後子ども教室「まちとも」実施校数	10校	18校	26校	34校	42校

【主な事業費】

放課後子ども教室事業委託料 (4,800千円×26校)	124,800千円
備品購入費(初度調弁) (2,000千円×8校)	16,000千円
保険料(傷害保険、賠償責任等保険)	4,050千円

【特定財源】

放課後子ども教室推進事業費補助金(都2/3)	92,708千円
------------------------	----------



学習の様子



外遊びの様子

問合せ先	子ども生活部 児童青少年課長 鈴木	電話	724-4097
	学校教育部 指導課長 金木		724-2154

件名	子どもクラブ整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
337,925		33,932	130,832	112,000	0	61,161

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 378 ページ

子どもの居場所の更なる充実を図るため、「町田市5カ年計画17-21」に基づき、子どもセンターを補完する子どもクラブの整備を進めます。整備にあたっては、「新・町田市子どもマスタープラン」の基本施策である子どもの参加と意見表明の機会を確保し、利用主体である子どもたちの意見を反映します。

【事業の内容】

①小山中学校区(小山町 1165-3)、②鶴川第二中学校区(三輪緑山 3-25)に設置する子どもクラブの建設工事を行います。③小山田中学校区(場所調整中)に設置する子どもクラブの検討、実施設計を行います。

また、南町田グランベリーパーク内に、公共公益施設として整備される子どもクラブの開設(2019年11月予定)に向けた準備を進めます。

施設の概要	想定規模	400㎡程度
	利用対象	0歳から18歳の児童及びその保護者
	主要施設	遊戯室、集会室、乳幼児室
	開館時間	10時から18時
	休館日	日曜日、祝日、年末年始(12月28日から1月4日)

【スケジュール】

	2019年度										2020年度													
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
① 小山	建設工事										開館準備	開館												
② 鶴川第二	入札・契約	建設工事										開館準備	開館											
	指定管理者選定																							
③ 小山田	入札・契約	実施設計										起工	入札・契約	建設工事										開館準備
	子ども、地域とのワークショップ										指定管理者選定													

【主な事業費】

【特定財源】

① 小山中学校区子どもクラブ新築工事	107,814 千円	次世代育成支援対策施設整備交付金(国)(①・②)	33,932 千円	
(2018～2019年度債務負担行為事業 総事業費 188,970 千円)		子ども家庭支援包括補助事業費補助(都1/2)(①・②)	96,900 千円	
② 鶴川第二中学校区子どもクラブ新築工事	177,683 千円	児童館整備費補助(都)(①・②)	33,932 千円	
③ 小山田中学校区子どもクラブ	実施設計委託料	16,755 千円	児童福祉施設整備事業債(①・②)	112,000 千円
	地盤調査委託料	3,252 千円		
	測量委託料	1,511 千円		

問合せ先	子ども生活部 児童青少年課長 鈴木	電話	724-4097
------	-------------------	----	----------

件名		冒険遊び場補助事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
31,353		0	12,790	0	27	18,536

II 部別予算概要 379 ページ

【事業の背景・目的】

「町田市5ヵ年計画17-21」の重点事業『子どもたちの「豊かな遊び」を実現する場づくり』として、「常設型冒険遊び場」の設置を進めています。

公園の豊かな自然環境の中で、地面に穴を掘ったり、秘密基地を作ったりと、子どもたちが遊びを見つけ、自分の「やってみたいこと」を実現することができるのが「冒険遊び場」です。子どもたちは、それぞれ自分のペースで創意工夫しながら、遊びの中で様々なことに挑戦し、ときには失敗するなどの体験を通して、心豊かに成長することができます。

市内では、常設型（年間 200 日以上開催）と定期開催型（月 1 回以上開催）の冒険遊び場活動が展開され、それぞれ活動団体への支援を行っています。常設型には 2017 年度、延べ約 5 万人の利用がありました。こうした活動団体への支援の拡充と全市的な活動の広がりを促すことで、子どもたちの豊かな遊びや体験ができる場を拡充していきます。

【事業の内容】

芹ヶ谷公園、鶴川中央公園、谷戸池公園に続く 4 箇所目の常設型冒険遊び場を、2019 年 5 月に三ツ目山公園に開設し、団体に対し活動の補助を実施します。あわせて、常設型冒険遊び場におけるプレーリーダーの配置基準を 2 人以上から 3 人以上に見直し、補助基準額の改正を行い、活動のさらなる充実を図ります。

【補助基準額（常設型）の改正】

年間開催日数	補助基準額（1団体当たりの年額）	
	改正前（2人以上）	改正後（3人以上）
200日以上249日以下	300万円	440万円
250日以上299日以下	375万円	550万円
300日以上	450万円	660万円

補助基準額の積算根拠は、プレーリーダー謝礼のほか活動費（消耗品、原材料費等）になります。

【主な事業費】

冒険遊び場補助事業補助金	25,580 千円
整備工事費	5,029 千円
備品購入費	320 千円



谷戸池公園冒険あそび場の様子

【特定財源】

東京都区市町村子供家庭支援包括補助金（都 1/2）	12,790 千円
---------------------------	-----------

問合せ先	子ども生活部 児童青少年課長 鈴木	電話	724-4097
------	-------------------	----	----------

件名		えいごのまちだ事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
185,529		0	0	0	3,936	181,593

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 584 ページ

グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上は極めて重要であり、大きな課題となっています。町田市では、これまで英語教育に先進的に取り組んできた素地を更に発展させ、英語によるコミュニケーション能力の育成に重心を置いた町田ならではの「えいごのまちだ」の取組を加速します。

町田発の新しい英語教育を展開することで、町田の未来を支える人材を育成するとともに、「英語教育で選ばれるまちだ」を実現します。

【事業の内容】

小学校英語については、放課後英語教室の実施校の拡充、授業を指導補佐する Machida English Promotion Staff〔MEPS〕(英語授業指導員)の増員を行います。

中学校英語については、中学校 ALT(外国語指導助手)の増員を実施します。また、GTEC(スコア型の英語4技能検定)を新たに導入します。これにより、成果を測定するだけでなく、指導改善及び学びの軌道修正を可能とし、効果的な事業展開を実現します。

取組名	2019年度取組内容	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
英語の教科化を先行実施	○1・2年生：6時間/年（町田市独自） ○3・4年生：35時間/年（外国語活動） ○5・6年生：70時間/年（外国語）		先行実施			
①放課後英語教室実施【拡充】	○小学校2年生から5年生の希望者を対象 ○1クラス16名 年16回実施 ○新規13校【累計29校】	3校（試行）	新規13校 【累計16校】	新規13校 【累計29校】	新規13校 【累計42校】	
②Machida English Promotion Staff（英語授業指導員）の配置【拡充】	○小学校英語の授業の指導補佐 ○月13日勤務 1人あたり3校を担当し、指定する学校に巡回指導 ○新規6名配置【累計9名配置】	未配置	新規3名配置	新規6名配置 【累計9名配置】	新規6名配置 【累計15名配置】	
③小学校ALTの配置【継続】	小学校のALTを1校あたり週20時間引き続き配置	1校当たり平均週9時間	1校当たり平均週20時間			
④中学校接続カリキュラムの実施【継続】	小学校英語と中学校英語をつなぐ町田市独自の接続プログラムを実施		実施			
⑤中学校ALTの配置【拡充】	中学校のALT配置時間を1校あたり週4時間から8時間に増加	1校当たり平均週4時間	1校当たり平均週4時間	1校当たり平均週8時間		
⑥GTECの実施【新規】	中学1年生にGTEC[スコア型の英語4技能検定]を新たに導入			1年生実施	1年生実施	1・3年生実施

【主な事業費】

③⑤ALT(外国語指導助手)派遣委託料【小・中学校】	139,616 千円
②Machida English Promotion Staff 報酬(9名分)	20,051 千円
⑥GTEC実施事業費	13,414 千円

【特定財源】

まちだ未来づくり基金繰入金	3,936 千円
---------------	----------

問合せ先	学校教育部 指導課長 金木	電話	724-2154
------	---------------	----	----------

件名		教育の情報化推進事業				
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
566,198		30,959	0	0	0	535,239

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 589、590 ページ

今後、グローバル化やICTの進展により、産業や雇用など様々な分野で大きな変化が起こることが予測されています。新たな時代に必要な資質・能力である積極性や創造性を育む上で、学校現場にもタブレット等のICT機器の普及が急速に進んでおり、同時に教育活動に活用可能なソフトウェアも続々と開発されています。

このような環境変化を受けて、町田市としてICT機器やソフトウェアを活用して子どもの学力向上に結び付けていくための方法論を確立することで、町田の子どもたちの将来の活躍の場を広げるとともに町田の教育の魅力を高めていきます。また、ICTを活用した授業を行うことにより児童・生徒の学習意欲を引き出し、授業の理解度を向上させます。

【事業の内容・スケジュール】

- (1) 小学校 22 校、中学校 5 校に ICT 機器(大型提示装置:普通教室に各 1 台、児童・生徒用タブレット端末:各校 40 台)を配備します。また場所にとられない活用を目指し、LTE 回線を活用します(※)。
- (2) 2017～2018 年度に引き続き、老朽化した教員用 PC を更新(タブレット端末化)するとともに、校務系システムと学習系システムを 1 台の端末で活用するためのシンクライアント基盤を整備します。
- (3) 個に応じた学びの最適化やソフトウェアを活用した協働学習の充実などについて実証を行い、ICT 教育の方法論を確立するために「町田発未来型教育 実証モデル事業」を実施します。そこで、モデル事業を実施する小・中学校に 1 学年分のタブレット端末を配備します。

※ LTE (Long Term Evolution)・・・携帯電話通信規格のひとつ。場所にとられない快適なネットワーク環境を実現する。

	2019年度	2020年度	2021年度
町田発未来型教育 実証モデル事業	ICTモデル校3校の1学年分のタブレットを追加整備し、未来型教育実証モデルの検証を行う (タブレット341台)		
小学校	ICTを活用した授業の実施 (2018年度19校、2019年度22校に、タブレット(各校40台)及び大型提示装置を整備)	新学習指導要領実施	
中学校	ICTを活用した授業の実施 (2018年度7校、2019年度5校、2020年度7校に、タブレット(各校40台)及び大型提示装置を整備)		新学習指導要領実施
校務用	教員用パソコンの更改(4年かけて教員用パソコン2,000台を更改)		
	小学校・学校運営支援システム稼働		
	中学校・学校運営支援システム仮稼働	中学校・学校運営支援システム本稼働	

【主な事業費】

システム使用料(タブレット端末、学校運営支援システムなど)	357,409 千円
備品購入費(大型提示装置、実物投影機)	128,946 千円
ソフトウェア購入費(仮想環境構築用ライセンス他)	43,573 千円

※ 全体事業費(2017～2021 年度)は、約 19 億 3 千万円を見込んでいます。

【特定財源】

教育情報化研究委託金(国 10/10) 30,959 千円

問合せ先	学校教育部 教育センター所長 勝又	電話	793-2481
------	-------------------	----	----------

件名	町田第一中学校改築事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
728,705		74,205	240,000	278,800	87,000	48,700

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 571 ページ

町田第一中学校は建築後 55 年経過しており、老朽化による学習環境の悪化を解消するため、2021 年 8 月下旬からの新校舎使用、2022 年 3 月から校庭も含めた全体使用の開始を目指し、改築を実施します。

新校舎は、将来の生徒数減少などの環境変化に合わせて、建物内の間取り変更などに柔軟に対応し、学校以外の施設を収容することも視野に入れた弾力的な空間構成を持つ構造とします。

2 階の交流ホールや武道場、図書室、音楽室などの特別教室を地域に開放することを想定し、市民利用型の最も身近な公共施設を目指します。また、太陽光発電設備など再生可能エネルギーや雨水利用、建物の断熱性能を高めることによる環境負荷の軽減を図ります。

【事業の内容】

既存校舎の解体及び新校舎の建設工事に着手します。また、体育授業等で使用している後田グラウンドの外周部分の整備工事を行います。加えて、部活動を行うスペースとして(仮称)町田第一中学校中町グラウンドの整備工事を引き続いて行い、7 月から使用を開始します。

○校舎棟予定規模

延べ床面積 約 11,000 m² RC 造 3F(一部 4F)

普通教室(普通学級 24+特別支援学級 7)31、特別教室 14、武道場 1、管理諸室等

【スケジュール】



【主な事業費】

校舎建設工事費(解体含) 316,470 千円(2018-2021 年度債務負担行為事業 総事業費 4,119,932 千円)

仮設校舎賃貸借料 203,040 千円(2017-2021 年度債務負担行為事業 総事業費 570,012 千円)

後田グラウンド整備工事費 100,000 千円

※ 全体事業費(2016～2021 年度)は、約 54 億 9 千万円を予定しています。

【特定財源】

学校施設環境改善交付金(国 1/3) 74,205 千円

市町村総合交付金(都) 240,000 千円

学校教育等整備事業債 278,800 千円

公共施設整備等基金繰入金 87,000 千円

問合せ先	学校教育部 施設課長 浅沼	電話	724-2174
	教育総務課長 田中		724-2172

件名		鶴川第一小学校改築事業												
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源								
316,840			26,078	48,000	219,000	16,000	7,762							
【事業の背景・目的】		Ⅱ 部別予算概要 570 ページ												
<p>本事業は、鶴川第一小学校の①老朽化の解消、②学習環境向上のため 2014 年度に着工した改築事業の最終年度(6 か年事業)です。校舎及びプール棟については 2015 年度に完成し 2016 年 4 月から新校舎での学校生活が始まっています。給食棟については 2017 年 12 月に完成し、2018 年 1 月から給食の提供を始めました。2018 年度は体育館棟改築工事を行い、完成しています。2019 年度の運動場整備・旧体育館棟解体工事をもって全事業の完了となります。</p>														
【事業の内容】														
<p>2019 年度は運動場整備及び外構整備工事を行います。また、旧体育館棟の解体、第二運動場の整備工事を行い、事業を完了します。</p> <p><校庭整備工事概要></p> <p>運動場整備面積 4,859.8 m² 第二運動場整備面積 487.6 m²</p> <p>運動場にスプリンクラー設置(雨水利用)</p>														
【スケジュール】														
		2019年度												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
運動場及び外構整備					←————→									
旧体育館棟解体及び第二運動場整備					←————→									
【主な事業費】														
運動場及び外構整備工事							242,880 千円							
旧体育館棟解体工事及び第二運動場整備工事費							72,160 千円							
※ 全体事業費(2012～2019 年度)は、約 43 億 4 千万円を見込んでいます。														
【特定財源】														
学校施設環境改善交付金(国 1/3)							26,078 千円							
市町村総合交付金(都)							48,000 千円							
学校教育施設等整備事業債							219,000 千円							
公共施設整備等基金繰入金							16,000 千円							
問合せ先	学校教育部 施設課長 浅沼			電話	724-2174									

件名	新たな地域協働推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
24,210		0	0	0	0	24,210

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 189 ページ

子どもの孤食や子育て世代の孤立、地域住民のつながりの希薄化など地域の課題は様々です。市内で活躍する団体は、行政の関与が難しい課題に対してもきめ細やかに対応しており、協働による地域社会の中で大きな役割を果たしています。多様な課題を解決するためには、市内で活動する団体がより一層増えていくことが必要ですが、活動資金の不足、事務処理を担う人材の不足、必要な情報が得られないなど、団体運営そのものが難しい状況が散見されます。

そこで、市内で活動する団体自身が抱える課題の解決に結びつくように、地域住民や企業などとの橋渡し役を担い、活動の継続性や共感力を高めるための支援を行う「町田市地域活動サポートオフィス」の設立準備会を立ち上げ、定款や事業計画等の方向性について話し合いを行い、開設準備を進めてきました。

【事業の内容】

「町田市地域活動サポートオフィス」を、2019年4月から開設します。

「町田市地域活動サポートオフィス」の核となる事業は相談窓口で、アウトリーチによる相談対応を実施し、潜在的なニーズについても対応していきます。また、団体の魅力的な活動を様々な媒体を活用して紹介したり、団体間や団体と企業などをつなぐコーディネートや、運営に関するスキル・ノウハウ等の提供を行い、新たな担い手との出会いをサポートします。

さらに、共通した課題を有する団体等の連携・交流を促進するために、まずは市民活動団体等の現状を把握する調査・分析を行っていきます。具体的な事業内容は、以下のとおりです。

- ①相談窓口（専門相談会の開催、出張相談の実施などを含む）
- ②広報紙の作成、HP・SNSを活用した情報発信
- ③市民活動団体への基礎調査
- ④人材育成組織運営支援（講座やワークショップ等の実施）
- ⑤他団体（町田ボランティアセンターや町田国際交流センターなど）との連携

【スケジュール】

年度	2019年											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業内容	①相談窓口											
	②広報紙の作成、HP・SNSを活用した情報発信											
	③市民活動団体への基礎調査											
							④人材育成・組織運営支援					
							⑤他団体との連携					

【事業費】

中間支援事業委託料 24,210 千円

問合せ先	市民部 市民協働推進課長 中坪	電話	724-4362
------	-----------------	----	----------

件名	玉川学園コミュニティセンター整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
396,052		0	60,000	247,000	0	89,052

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 188、455 ページ

玉川学園コミュニティセンター（1974年7月開設）は、地元住民を中心に文化活動の拠点として活発に利用されてきましたが、建築後44年を経過し、施設の老朽化が顕著になり適切な維持管理が難しくなりました。さらに、建設当時のバリアフリー対応が不十分なことや施設の狭隘さが、時代のニーズに応えられなくなりました。そこで、隣接する玉川学園二丁目自転車駐車場用地をコミュニティセンター敷地に取り込み、施設を建替えます。また、建替えに伴い、玉川学園前駅から玉川学園コミュニティセンターへのアクセス向上及び地域のバリアフリー化を図るため、（仮称）玉川学園前駅デッキを整備します。

【事業の内容】

1 2018年度に引き続き、玉川学園コミュニティセンターの改築工事を行います。また、工事期間中は、隣接する建物に仮設庁舎を設置し、連絡所機能を継続します。

施設概要	所在地	玉川学園 2-19-12
	敷地面積	1,512.84 m ²
	延床面積	1,715.61 m ²
	構造・規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下1階 地上3階建
	施設内容	ホール、多目的室1、多目的室2、多目的室3、多目的室4、連絡所 図書室、地域活動室

2（仮称）玉川学園前駅デッキの築造工事とデッキの駅舎接続工事を行います。

橋梁延長 43.7m 幅員 3.0m～3.5m 屋根有

【主な事業費】

1 玉川学園コミュニティセンター建替事業

整備工事費 140,443 千円

（2018～2020年度債務負担行為事業 総事業費 999,265 千円）

工事監理委託料 16,200 千円

（2018～2020年度債務負担行為事業 総事業費 40,500 千円）

2（仮称）玉川学園前駅デッキ整備事業

整備工事費 234,000 千円

（2019～2020年度債務負担行為事業 総事業費 480,000 千円）

物件等補償料 2,000 千円

整備等負担金 1,800 千円

【特定財源】

1 玉川学園コミュニティセンター建替事業

地域センター整備事業債 117,000 千円

2（仮称）玉川学園前駅デッキ整備事業

地域福祉推進包括補助金（都 1/2） 60,000 千円

道路整備事業債 130,000 千円



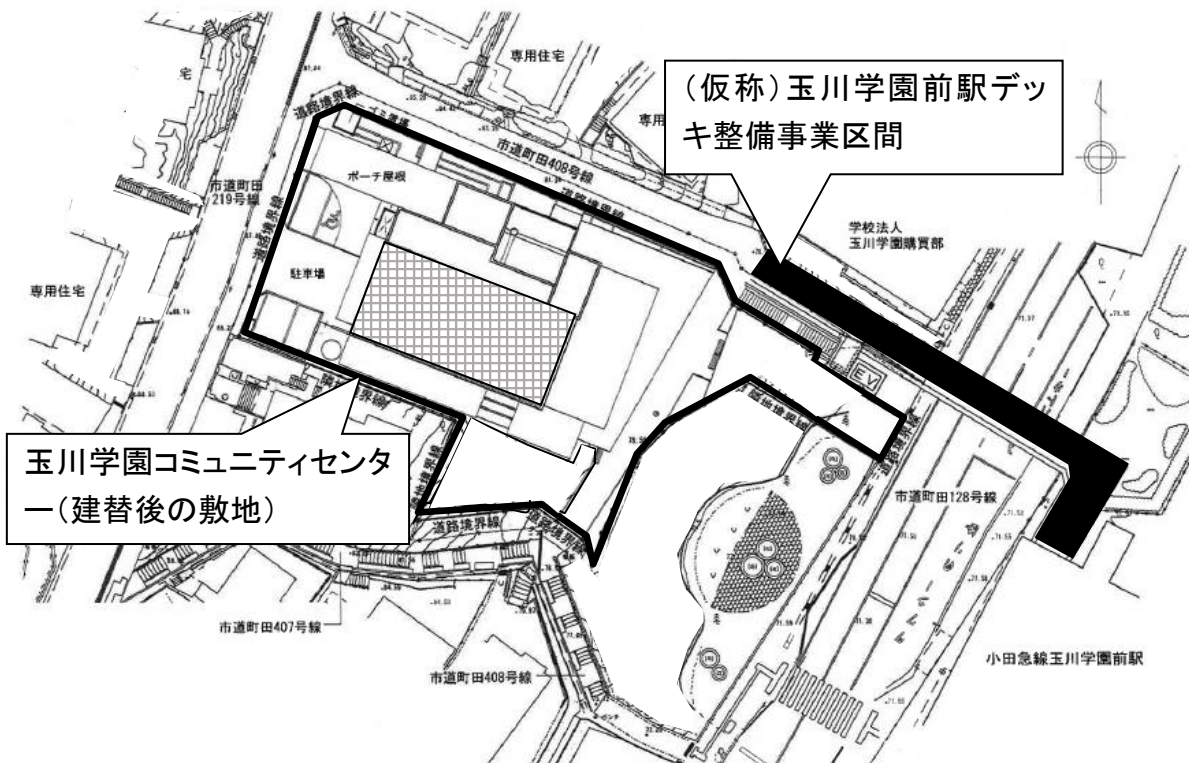
玉川学園コミュニティセンター完成予想図



(仮称)玉川学園前駅デッキ完成予想図

【スケジュール】

	2019 年度	2020 年度	2021 年度
1 玉川学園 コミュニティセンター 建替	■解体・建築工事 (2019年2月～2021年1月) ■仮設庁舎 (2019年2月～2021年4月)	→	■使用開始(2021年5月)
2 (仮称)玉川学園前駅 デッキ整備	■整備工事 (2019年7月～2021年1月)	→	■利用開始(2021年2月) 台帳測量 →



玉川学園コミュニティセンター整備事業 案内図

問合せ先	市民部 市民総務課長 岡田	電話	724-4346
	道路部 道路整備課長 北川		724-1122

件名	よりよい介護サービス利用のための環境づくり					
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
583,580		0	576,074	0	0	7,506

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 284、285 ページ

第7期町田市介護保険事業計画に基づき、計画の基本目標である、市民が「よりよい介護保険サービスを適切に利用できている」環境づくりのため、以下の事業を推進します。

【事業の内容】

1 介護人材開発事業

町田市介護人材開発センターが実施する介護人材の確保、育成、定着の事業を支援します。介護従事者のスキルアップのための研修や、未来の担い手である子どもを対象とした介護施設の職場体験、50歳以上の市民(アクティブシニア)を対象として介護事業所の補助的業務に係る研修・就労相談を行う人材バンク事業等を補助します。また、新たに女性や外国籍市民など多様な担い手の創出に向けた交流会や入門的研修等を実施し、就労支援を行います。

【スケジュール】

事業	対象者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護人材の確保・育成・定着事業	介護従事者等	講習会・面接会・研修など(月1～2回) 子ども向け職場体験											
アクティブシニア介護人材バンク事業	アクティブシニア	就労相談・出張相談会・特別講座(月1回)											
介護の多様な担い手創出事業	多様な担い手		セミナー	施設見学会	交流会	就労支援	セミナー	入門的研修	セミナー	交流会	入門的研修	就労支援	

2 介護施設整備事業

介護が必要なときに安心して利用できる環境を整えるために、第7期町田市介護保険事業計画(2018年度～2020年度)に基づき、地域密着型サービス施設の整備にかかる費用について補助を行います。

- (1) 認知症高齢者グループホーム(町田圏域1施設、塚・忠生圏域1施設、南圏域1施設)
- (2) (看護)小規模多機能型居宅介護(町田圏域1施設、塚・忠生圏域2施設、南圏域1施設)
- (3) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護(町田圏域1施設)

【スケジュール】

整備種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
認知症高齢者グループホーム(町田圏域)	新築工事										開設	
地域密着型サービス施設(上記以外)	都と補助金協議			新築工事						開設		

【事業費】

- 1 介護人材開発事業補助金 18,000千円
- 事業・業務委託料(介護の多様な担い手創出事業) 6,680千円
- 2 地域密着型サービス施設整備事業補助金 558,900千円

【主な特定財源】

- 1 地域人材確保・育成支援事業費補助金(都10/10) 6,680千円
- 2 地域密着型サービス整備費補助金(都10/10) 314,650千円
- 認知症高齢者グループホーム整備費補助金(都10/10) 244,250千円



アクティブシニア介護人材バンク事業

問合せ先	いきいき生活部 いきいき総務課長 佐藤	電話	724-2916
------	---------------------	----	----------

件名	がん予防対策推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
282,627		5,323	314	0	0	276,990

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 323 ページ

死因第 1 位である「がん」は、患者自身の身体的な苦痛だけではなく、自身や家族にとっての精神的な苦痛や経済的な負担を伴うことから、市民にとって脅威と言えます。住み慣れた地域でいつまでも健康的な生活が送れるようにするためには、がんの予防、治せるがんを早期に発見して治療に繋げることが大切です。そのため、町田市では、がんを予防するための胃がんリスク検診や、がんを発見するための各種がん検診を実施しています。また、より多くの方に受診していただくための受診勧奨やがん予防の正しい知識の普及啓発を実施します。

【事業の内容】

各種がん検診等を実施するとともに、働き盛り世代に対して、個別受診勧奨はがきを送付します。胃がんリスク検診は 35 歳以上から 30 歳以上へ対象者を拡げます。

検診項目	対象者	自己負担金	実施医療機関数	個別受診勧奨はがき送付時期(予定)
胃がんリスク検診	30 歳以上男女	800 円	約 140 か所	7 月
大腸がん検診	40 歳以上男女	800 円	約 140 か所	7 月
乳がん検診	40 歳以上偶数年齢女性	2,000 円	10 か所	9 月、3 月
子宮頸がん検診	20 歳以上偶数年齢女性	1,000 円	17 か所	5 月
前立腺がん検診	50 歳以上 70 歳以下男性	1,000 円	約 150 か所	—

【スケジュール】

	各種がん検診等実施期間											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
胃がんリスク検診			■									
大腸がん検診			■									
乳がん検診	■											
子宮頸がん検診	■											
前立腺がん検診			■									

【主な事業費】

胃がんリスク検診委託料	28,148 千円
大腸がん検診委託料	79,054 千円
乳がん検診委託料	64,102 千円
子宮頸がん検診委託料	85,379 千円
前立腺がん検診委託料	11,054 千円



【特定財源】

健康増進対策費補助金(国 1/2)	5,323 千円
医療保健政策包括補助事業費補助金(都 1/2)	314 千円

問合せ先	保健所 健康推進課長 田中	電話	725-5178
------	---------------	----	----------

件名	温浴施設整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
65,418		0	0	39,000	0	26,418

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 223 ページ

新たな熱回収施設(ごみ焼却施設)で発生する熱エネルギーを有効に活用するため、子どもから高齢者まで幅広い世代の健康の増進と交流を図る温浴施設を、室内プールの付帯施設として整備します。

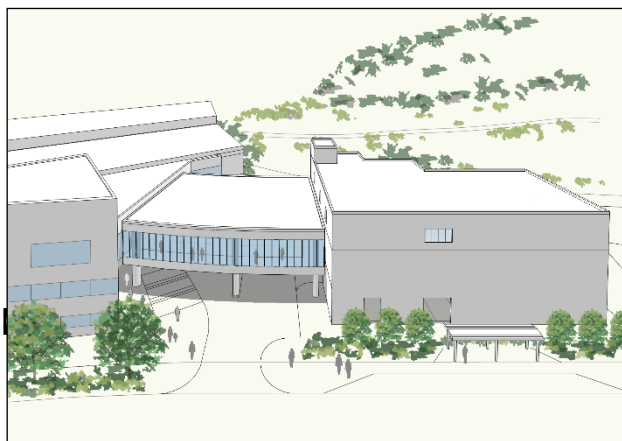
当施設の整備にあたっては、2016 年度に地域住民との意見交換会を開催し、様々な世代が求める健康増進温浴施設の主な機能や室内プールとの接続、プールと温浴施設の役割分担等について検討を行いました。意見交換会の結果を踏まえ、2017 年度に地域住民や有識者で構成される「熱回収施設等の周辺施設整備のあり方検討委員会」を設置し、当施設を含めた熱回収施設周辺整備の基本構想を 2018 年 3 月に策定しました。

【事業の内容】

2018 年度に行った基本設計を受け、2019 年度は地盤調査、実施設計を行います。

【スケジュール】

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
地盤調査	→			
実施設計	→→			
整備工事		→→→→→		●4 月供用開始



(温浴施設外観イメージ図)

整備予定地	町田市図師町 199 番地 1 (室内プール敷地内)
想定規模	1,600 m ² 程度 地上 3 階建 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
主要施設	男女浴場、サウナ、休憩室、 多目的室 (1.2)、キッズスペース

【事業費】

実施設計委託料 52,800 千円
調査等委託料(地盤調査) 12,618 千円

【特定財源】

体育施設整備事業債 39,000 千円

問合せ先	文化スポーツ振興部 スポーツ振興課長 石田	電話	724-4036
------	-----------------------	----	----------

件名	建築物耐震化促進事業・ブロック塀等撤去助成事業					
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
440,390		198,973	115,087	0	0	126,330

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 498 ページ

町田市では、大規模地震発生による建築物の倒壊を少なくし、「安心して生活できるまちをつくる」ために、地震対策として住宅の耐震化・緊急輸送道路沿道建築物(※)の耐震化を「町田市5ヵ年計画17-21」における重点事業として位置付け、耐震化費用の助成などにより耐震化を推進しています。

また、2018年6月18日に大阪府北部で発生した地震によるブロック塀倒壊の事故を受け、道路等に面するブロック塀等の撤去費用を助成することで災害に強いまちづくりを推進します。

(※)防災上重要な道路として東京都地域防災計画に位置付けられた緊急輸送道路(市内では主に町田街道や鎌倉街道などが該当)に敷地が接する建築物のうち、旧耐震基準(1981年5月以前)で建築された一定高さ以上(前面道路幅員のおおむね1/2以上の高さ)の建築物

【事業の内容・主な事業費】

○建築物耐震化促進事業の対象となる建築物は、1981年5月以前に着工した木造住宅、分譲マンション、緊急輸送道路沿道建築物です。2019年度は2018年度に引き続き、鶴川6丁目団地(30棟)の改修工事への助成などを実施します。

○ブロック塀等撤去助成事業の対象となる塀は、道路等に面する一定高さ以上のブロック塀等で、ブロック塀等の設置してある敷地の用途は、住宅に限らず店舗や事務所なども含まれます。

■下記の限度額、助成率は主なものを記載しています。

項目		内容	予定件数	事業費(千円)	
木造住宅	簡易耐震診断	市が診断士を派遣	220件	10,576	
	精密耐震診断助成	経費の 1/2	10万円上限	50件	5,000
	耐震設計助成		10万円上限	30件	3,000
	耐震改修助成		50万円上限	20件	10,600
	除却工事助成		50万円上限	35件	17,500
	耐震シェルター設置助成		20万円上限	5件	1,900
分譲マンション	耐震改修助成※	経費の2/3	1件	196,242	
緊急輸送道路 沿道建築物	耐震診断助成	経費の4/5	1件	774	
	耐震設計助成	経費の5/6 または 2/3	4件	13,941	
	耐震改修助成	経費の5/6	3件	163,038	
ブロック塀	撤去助成	6,000円/m 30万円上限	50件	5,000	

※分譲マンション耐震改修助成事業(2018～2019年度 債務負担行為事業 総事業費 390,000千円)

【特定財源】

防災・安全交付金(国1/2・1/3)	198,973千円
住宅費補助金(都1/4・1/6)	51,591千円
耐震改修費補助金(都1/6・7/30・1/3)	63,496千円

問合せ先	都市づくり部 住宅課長 泉	電話	724-4269
------	---------------	----	----------

件名	汚水管渠地震対策事業（下水道事業会計）					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
134,400		12,520	626	120,900	0	354

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 520 ページ

大規模地震の発生が懸念される中、汚水管の耐震化と多くの避難者が集まる避難施設での衛生的な生活環境の確保が求められています。

そこで、汚水管の耐震化整備を進めるとともに、避難施設にマンホールトイレシステムを整備し、被災時の市民の衛生的な生活環境を確保します。

【事業の内容】

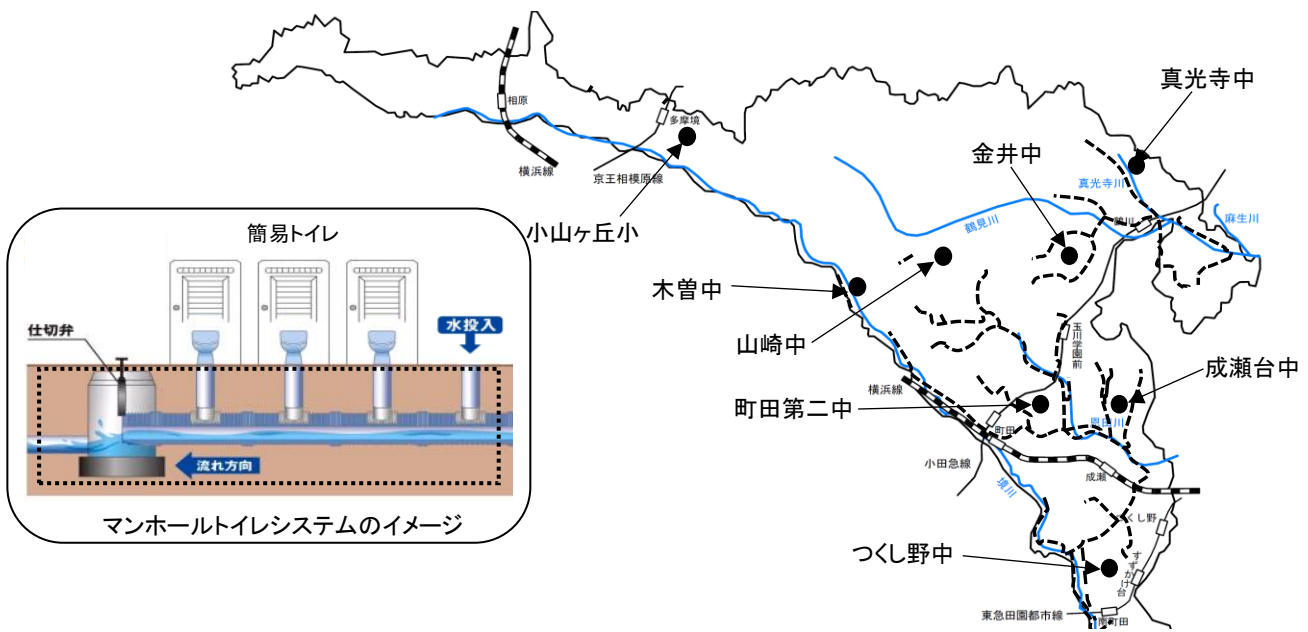
① 汚水管の耐震化

1996(平成 8)年度以前に敷設した汚水管の耐震診断の結果、耐震基準を満たしていない汚水管の耐震化設計を行います。

② マンホールトイレシステムの設置

避難施設の小中学校 8 校(金井中学校、小山ヶ丘小学校、木曽中学校、山崎中学校、成瀬台中学校、つくし野中学校、町田第二中学校、真光寺中学校)にマンホールトイレシステムを設置します。

※ 1 施設あたり 10 基のマンホールトイレシステムを設置します。



【事業費】

②整備工事費	114,400 千円
①②実施設計委託料	20,000 千円

凡例

- :マンホールトイレシステム設置箇所
- :1996 年度以前に敷設の汚水幹線

【特定財源】

②防災・安全交付金(国 1/2)	12,520 千円
②下水道費補助金(都 2.5/100)	626 千円
①②下水道事業債	120,900 千円

問合せ先	下水道部 下水道整備課長 野田	電話	724-4297
------	-----------------	----	----------

件名	雨水管渠整備事業（下水道事業会計）					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
244,000		24,400	1,220	180,300	0	38,080

【事業の背景・目的】

II 部別予算概要 520 ページ

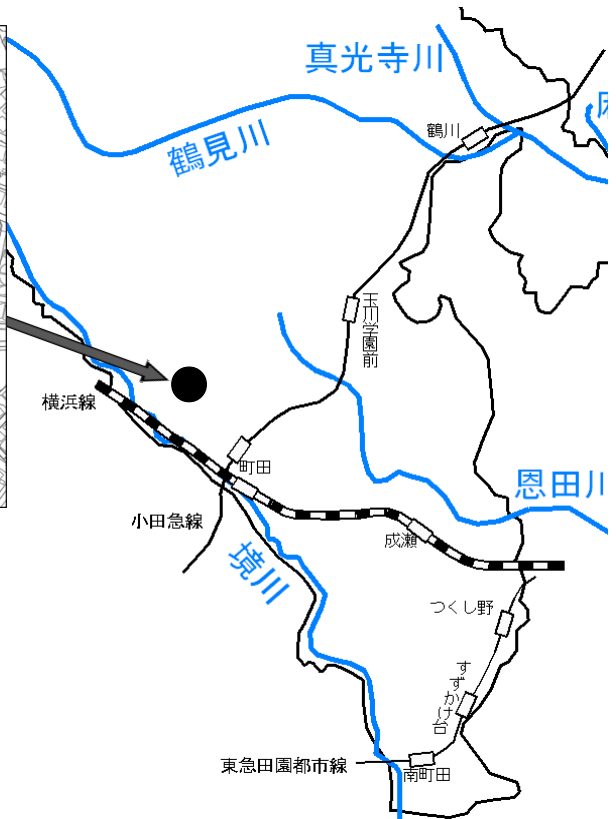
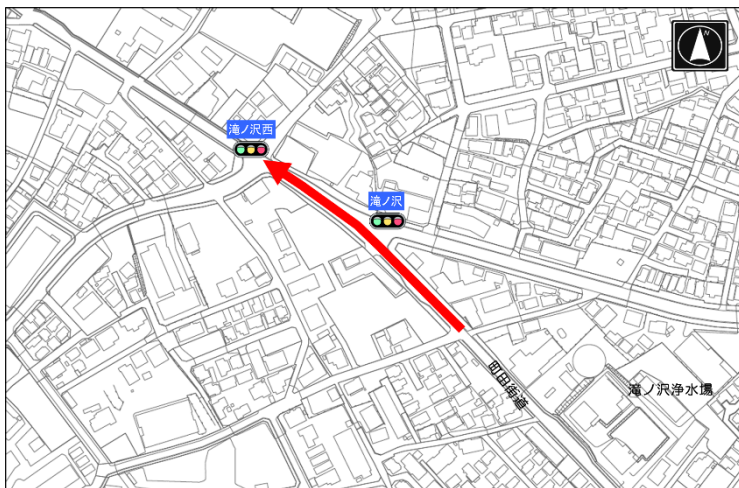
近年、多発している集中豪雨や大型台風による都市型の浸水被害が問題となっており、その対策が求められています。

そこで、過去の浸水被害箇所から対策が必要な地区について、雨水管の整備を行います。

【事業の内容】

本町田西3号雨水枝線工事

延長 約180m



雨水管整備工事の様子

【事業費】

整備工事費	153,000 千円
整備委託料	91,000 千円

【特定財源】

防災・安全交付金(国 1/2)	24,400 千円
下水道費補助金(都 2.5/100)	1,220 千円
下水道事業債	180,300 千円

問合せ先	下水道部 下水道整備課長 野田	電話	724-4297
------	-----------------	----	----------

件名	シティプロモーション推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
137,153			0	0	0	0

Ⅱ 部別予算概要 108、405 ページ

【事業の背景・目的】

市民に対しては、居住するまちへの「愛着・誇り」を育み、まちだに「住み続けたい」という意欲を醸成し、市外の人に対しては、町田への「関心・憧れ」を生み、「住んでみたい」という気持ちを高めることを目的とした PR 活動を展開します。特に、「まちだ〇ごと大作戦 18-20」においては、市制 60 周年や、ラグビーワールドカップ 2019、東京 2020 オリンピック・パラリンピックがある 2018 年から 2020 年の3カ年を市民や地域等の「やってみよう夢」を実現します。それによって、町田や地域の活力を高めていき、市内各地域が「祭り」のように盛り上がっている様子や取組の様子を市内外に積極的に情報発信します。

また、ラグビーワールドカップ 2019 や東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、訪日外国人観光客が増加していくことが見込まれます。この訪日外国人観光客を町田市に誘客するため、Facebook 等を活用し、外国人に向けた情報発信を強化します。

【事業の内容】

1 まちだ〇ごと大作戦 18-20

市民や地域、企業等が「やってみよう」と考えている提案を大作戦チャレンジ事業として、実現につなげる取組です。新しい人との出会いやつながりから新たな価値を生み出し、地域活動や市民活動を盛り上げていきます。まちだ〇ごと大作戦は実行委員会方式で展開し、情報発信や資金などの支援を行います。大作戦チャレンジ事業の募集期間は 2018 年1月から 2020 年 9 月末までです。また、市民や地域団体等と協働して取り組む事業や提案を実現させるために、市が担うべき事業を協働・協賛事業として進めていきます。



まちだ〇ごと大作戦 作戦会議

2 子育て・暮らしに関する魅力創造・発信

将来的な人口減、若年層の比率低下が予測される中、2018 年度は、PR 映像、フリーペーパーの制作、Web ニュースサイトの活用などにより、町田市の子育て環境を PR しました。2019 年度においても引き続き、2016 年度からターゲットにしている子育て世代に対しての PR 活動を展開します。

ターゲットが頻繁に利用する Web や SNS 等の媒体を活用し PR を展開することにより、効果的に情報発信していきます。



町田市 PR 映像「まちだで育む」

3 外国人向け Facebook 等による情報発信

訪日回数が多く、再訪意欲の高い台湾・香港からの旅行者をターゲットに、京王沿線の自治体が参画している Facebook「DiscoverNextTokyo」を通して、町田の魅力を発信します。

また、日本の歴史や文化を体感できる「町田時代祭り(毎年10月開催)」のイベント情報を、外国人向け英字情報誌に掲載し、より積極的にPRします。



町田時代祭り 流鏝馬

【スケジュール】

2019 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 まちだ〇ごと大作戦 提案募集期間と判定・評価	提案募集											
	□前年分判定・評価		□判定・評価		□判定・評価		□判定・評価		□判定・評価			
2 子育て・暮らしに関する 魅力創造・発信	テレビ・雑誌・WEB等を活用したPRの実施											
3 外国人向け Facebook 等 による情報発信	Facebookを活用したPRの実施(年15回)											
	●時代祭り(英字情報誌)											

【主な事業費】

1 まちだ〇ごと大作戦協働・協賛事業支援委託料	50,000 千円
1 まちだ〇ごと大作戦実行委員会負担金	39,950 千円
1 まちだ〇ごと大作戦 18-20 事業実施支援委託料	15,048 千円
2 まちだシティプロモーション支援業務委託料	28,075 千円
3 Facebook 運営事業負担金	330 千円
3 外国人向け英字情報誌広告掲載料	55 千円

問合せ先	政策経営部 広報課長 白川	電話	724-2101
	まちだ〇ごと大作戦担当課長 村上		724-4084
	経済観光部 観光まちづくり課長 中村		724-2128

件名	南町田駅周辺地区拠点整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2,669,516		328,600	61,500	1,373,000	183,500	722,916

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 448、468、484、495 ページ

都市計画マスタープランで位置付けた「副次核」の充実を図るため、東京急行電鉄株式会社と連携・共同して、「南町田拠点創出まちづくりプロジェクト」を推進しています。商業施設、都市公園、鉄道駅、都市型住宅や、自由通路を含む歩行者ネットワークなどの一体的な再整備を図り、駅を降り立った瞬間から商業施設内を通りぬけて公園まで、みどり豊かなオープンスペースが連なる、「すべてが公園のようなまち」を形成していきます。

新しく生まれ変わるまち、「南町田グランベリーパーク」は、2019 年秋のまちびらきを予定します。



【工事スケジュール】

	2016	2017	2018	2019	2020
(1) 土地区画整理事業	[Progress bar from 2016 to 2020]				
(2) 鶴間公園再整備			[Progress bar from 2018 to 2020]		
(3) パークライフ・サイト整備			[Progress bar from 2018 to 2020]		
(4) 南北自由通路整備		[Progress bar from 2017 to 2020]			
(5) 北口広場築造 (バス乗降場の屋根設置)	[Progress bar from 2016 to 2017]			[Progress bar from 2019 to 2020]	
(関連) 複合利用ゾーン整備				[Progress bar from 2020 to 2021]	

まちびらき

【事業の内容】

(1)南町田駅周辺土地区画整理事業

商業施設、公園、都市型住宅、道路等の一体的な再整備を図るため、調整池整備や公園の一次造成、道路の改修・廃止・新設等を進めます。まちびらきまでに、道路工事、パークライフ・サイトの造成工事を完了します。

(2)鶴間公園再整備事業

まちびらきまでにスポーツエリア、多目的広場等に係る造園工事、カフェ・クラブハウス棟新築工事を完了し、まちびらきと同時に開園します。

(3)パークライフ・サイト整備事業

鶴間公園と商業施設の間に設ける「パークライフ・サイト」において、民間事業者によるミュージアム・子どもクラブ・まちライブラリー等の複合施設整備に合わせて、広場・通路等の外構整備を行います。



パークライフ・サイト 俯瞰イメージ
(鶴間公園方向から見る)

(4)南町田駅南北自由通路整備事業

南町田駅の北側地域と南側地域を結ぶ自由通路の整備として、自由通路上のタイル舗装や改札口の設置工事等を進め、まちびらきまでに使用開始します。



南北自由通路 イメージ
(駅南方向から見る)

(5)南町田駅北口広場築造事業

地域の交通拠点としての利便性の向上を図るため、2017年4月に開通した南町田駅北口広場に、バス乗降場の屋根設置を行います。さらに、南町田の玄関口として、まちの魅力を創出するため、屋根のライトアップ等の演出を実施します。

【事業費・特定財源】

(単位:千円)

事業名	事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
(1)南町田駅周辺土地区画整理事業	69,272	3,000	1,500	19,000	0	45,772
(2)鶴間公園再整備事業	1,224,758	268,000	0	769,000	131,000	56,758
(3)パークライフ・サイト整備事業	257,322	52,800	0	95,000	0	109,522
(4)南町田駅南北自由通路整備事業	802,682	4,800	0	273,000	47,000	477,882
(5)南町田駅北口広場築造事業	315,482	0	60,000	217,000	5,500	32,982

問合せ先	都市づくり部 都市政策課長 遠藤	電話	724-4248
	公園緑地課長 守田		724-4397
	道路部 道路政策課長 大坪		724-1124
	道路整備課長 北川		724-1122

件名	東京 2020 オリンピック・パラリンピック等国際大会推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
37,188		0	5,070	0	361	31,757

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 227 ページ

2019年9月から11月にかけて開催されるラグビーワールドカップ 2019™では、東京スタジアムで開幕戦ほか7試合、横浜国際総合競技場で決勝戦ほか6試合が行われ、多くの観戦客が町田市を含む周辺都市を来訪すると見込まれます。来訪者に町田市の魅力を発信する絶好の機会と捉え、大会やラグビー競技に対する市民の関心を高めてまちを挙げた盛り上がりにつなげていくとともに、公認チームキャンプ地として代表チームを受入れます。

また、2019年度は、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた各競技のテスト大会が実施される予定であり、大会出場を賭けた予選大会も世界中で開催されます。町田市では、テスト大会に向けた気運醸成のほか、2020年の事前キャンプ受入れや市内で実施される競技等の準備を加速させ、より多くの市民に世界的スポーツイベントへ関わっていただく機会を創出します。

【事業の内容】

1 ラグビーワールドカップ 2019

(1) 公認チームキャンプ受入れ

大会の開催に合わせて、ナミビア代表の公認チームキャンプを受け入れます。

(2) 大会気運醸成

大会やラグビー競技に対する市民の関心を高めるため、商店街等へのフラッグ・横断幕の掲出や、市内イベントへのブース出店による大会 PR・ラグビー体験等を実施します。また、大会期間中、キャンプチームを応援するためのパブリックビューイングを実施します。



大会 PR ブース出店(イメージ)

ラグビーワールドカップ 2019 について

開催期間：2019年9月20日(金)～2019年11月2日(土)

参加チーム：20チーム

試合会場：日本全国12会場

ナミビア代表の試合日程(プール戦)：

試合日	対戦相手	試合会場
9月22日(日)	イタリア	東大阪市花園ラグビー場
9月28日(土)	南アフリカ	豊田スタジアム
10月6日(日)	ニュージーランド	東京スタジアム
10月13日(日)	カナダ	釜石鶴住居復興スタジアム

※各プールの5チーム中上位2チームが決勝トーナメントへ進出



前回大会のナミビア代表対ウェールズ代表戦

2 東京 2020 オリンピック・パラリンピック

(1) 大会気運醸成

大会 1 年前に実施される自転車競技ロードレースのテストイベント(2019 年 7 月)や 2020 年の大会本番に向けて市民の関心を高めるため、商店街等へのフラッグ・横断幕の掲出や、市内イベントへのブース出店による大会 PR・競技体験等を実施します。また、マラソングランドチャンピオンシップ(9 月)に合わせたパブリックビューイングを実施します。



東京都

(2) 事前キャンプ受入れ

インドネシア(パラバドミントン、空手、バドミントン)、中国(卓球、バレーボール、バドミントン、競泳)、南アフリカ(競技は調整中)の事前キャンプ受入れに向けて調整を進め、キャンプ地契約締結を目指します。また、パラバドミントンや空手競技で、2020 年の事前キャンプ準備として、大会 1 年前合宿を受け入れる予定です。なお、事前キャンプ受入れにあたっては、市民と選手との交流の機会を創出します。

(3) ボランティア活動支援

まちだサポーターズや自転車競技ロードレーステストイベントのコースサポーター等、支え手となるボランティアに対して、研修・説明会等を実施して育成を図り、活動の機会を提供します。

【スケジュール】

	2019 年度												2020 年度	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
ラグビー ワールドカップ	大会気運醸成					大会期間								
東京 2020 オリパラ	大会気運醸成・事前キャンプ受入れ準備												開催	
				★		★								

【主な事業費】

気運醸成事業実施業務委託料	11,187 千円
キャンプ地招致実施業務委託料	9,569 千円
ボランティア育成支援業務委託料	1,287 千円



大会公式マスコット(左:ミライトワ、右:ソメイティ)

【特定財源】

スポーツ振興等事業費補助金(障害者スポーツ地域振興事業)(都 2/3)	2,300 千円
スポーツ振興等事業費補助金(普及啓発等事業費)(都 1/2)	2,770 千円
まちだ未来づくり基金繰入金	361 千円

問合せ先	文化スポーツ振興部 オリンピック・パラリンピック等 国際大会推進課長 唐澤	電話	724-4442
------	--	----	----------

件名	町田市文化プログラム推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
21,225		0	2,230	0	11,670	7,325

Ⅱ 部別予算概要 219、220 ページ

【事業の背景・目的】

オリンピック・パラリンピック開催都市は「文化プログラム」を実施することがオリンピック憲章で求められており、オリンピック組織委員会が認証する「東京 2020 参画プログラム」などが全国で開催されています。

2019 年のラグビーワールドカップや 2020 年のオリンピック・パラリンピックの開催時には、多くの来訪者が見込まれますので、町田市の文化や魅力を国内外に発信する絶好の機会です。

町田市では、この機会に「いつでも、どこでも、だれでも、あらゆる文化を楽しむまちづくり」をさらに進めるため、オリンピック・パラリンピック開催までの期間に独自の文化プログラムを推進しており、現在 3 箇年事業の 2 年目となります。

町田市文化プログラムとして実施された様々な取り組みや、文化プログラムによって生まれた新たなネットワークなどを、2020 年以降もレガシーとして引き継ぎ、文化芸術のまちづくりを推進していきます。

【事業の内容】

2019 年度は以下の事業を町田市文化プログラムとして実施します。

1 市が主催する町田市文化プログラム

町田市が近隣の芸術系大学、関連する芸術家や文化芸術関係組織、市民団体等との協働により、子どもを対象にしたワークショップや、海外との文化交流イベント等、5 件のプログラムを実施します。

2 市民の町田市文化プログラムへの参加促進

「まちだ〇ごと大作戦 18-20」との連携により、町田市文化プログラムを PR し市民の参画を促すとともに、町田市の文化を特徴づける多様な事業 65 件以上の認証を目指します。

3 国際版画美術館企画展（町田市文化プログラムとしてのイベント）

国際版画美術館において、浮世絵のシリーズ展（2019 年度は「浮世絵美人画展」）と現在の町田を紹介する「インプリントまちだ展 2019」を町田市文化プログラムの一環として開催します。

【スケジュール】

	2019年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 市が主催する町田市文化プログラム	5 事業実施											
2 市民の町田市文化プログラムへの参加促進		チラシ作成	市民への周知									
3 国際版画美術館企画展				インプリントまちだ展		浮世絵美人画展	翌年度の企画展準備					

【主な事業費】

企画展通信運搬費

5,420 千円

ポスター・チラシ等作成委託料

4,988 千円

企画展事業・業務委託料

2,336 千円

イベント企画運営委託料

1,763 千円

【主な特定財源】

スポーツ振興等事業費補助金

普及啓発等事業（都 1/2）

2,230 千円

展示会観覧料

5,670 千円

芸術文化振興基金助成金

2,500 千円

問合せ先	文化スポーツ振興部 文化振興課長 小田島	電話	724-2184
	国際版画美術館副館長 高木		726-2771

件名	スポーツをする場の環境整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
39,126		0	0	0	0	39,126

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 225 ページ

現在、身近にスポーツを楽しめる場が不足しており、幅広い世代が気軽にスポーツができる場が求められています。

市民がスポーツをする環境の整備を町田市5カ年計画 17-21 の重点事業として位置づけ、誰もがスポーツに親しめる環境を創出するため、学校跡地や予定地、高架下、雨水調整池等をスポーツ施設やスポーツ施設を併設した公園として整備し、効率的・効果的な施設管理及び運用を行います。

【事業の内容】

小山上沼公園内の二次調整池、成瀬鞍掛スポーツ広場を公のスポーツ施設として活用するために必要な施設整備を行います。

対象施設	①小山上沼調整池スポーツ施設	②成瀬鞍掛スポーツ広場
整備内容	・地盤調査 ・基本・実施設計	・地盤調査 ・基本設計

【スケジュール】

		2019 年度	2020 年度	2021 年度
①小山上沼調整池スポーツ施設	小山ヶ丘 3-1-1 3,600 m ² (二次調整池のみ)	地盤調査	工事 ● 条例改正 ● 予約システム運用開始 ● 供用開始	
		基本・実施設計		
②成瀬鞍掛スポーツ広場	西成瀬 2-7 16,201 m ²	地盤調査	実施設計	工事
		基本設計		条例改正 予約システム運用開始 ● 供用開始 ●

【事業費】

①小山上沼調整池スポーツ施設

基本・実施設計委託料	24,507 千円
地盤調査委託料	332 千円

②成瀬鞍掛スポーツ広場

基本設計委託料	13,564 千円
地盤調査委託料	723 千円

問合せ先	文化スポーツ振興部 スポーツ振興課長 石田	電話	724-4036
------	-----------------------	----	----------

件名	町田薬師池公園四季彩の杜整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,598,389		542,000	35,500	798,000	57,678	165,211

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 398、405、493 ページ

「町田薬師池公園四季彩の杜」は、薬師池、リス園、ぼたん園、ダリア園といった観光施設や歴史的遺産、豊かな自然とたわむれる環境が存在する魅力的なエリアです。これらの公園その他各施設について、四季折々の花や庭園、風景等を楽しめるように、施設の改修や施設間の連携を強化し、回遊性の向上に取り組むとともに、効果的なプロモーションを推進します。

2020年4月の西園（ウェルカムゲート、直売所及び体験農園）のオープンに向けて、西園の整備、農とのふれあい事業の推進等を行います。

【事業の内容】

1 西園の整備

西園内のウェルカムゲートには、「町田薬師池公園四季彩の杜」全体の案内所機能や、ゆったりくつろぐことができる無料休憩所とカフェ・レストラン、そして農産物や加工食品の販売所等の町田の「農」を発信する機能を導入するとともに、駐車場、観光バスの一時停留所などを整備します。

2 プロモーションの推進

2018年度に作成したロゴマーク及びプロモーションサイトを活用するとともに、西園開園に向けたプレイベントを2回実施し、町田薬師池公園四季彩の杜のプロモーションを進めます。

3 農とのふれあい事業の推進

西園エリアで野菜等の苗を生産販売する育苗ゾーンの整備を進めます。

農産物の販売について、市、農業者及び町田市農業協同組合に加え、直売所の開設に精通した事業者とともに、ウェルカムゲートに合った出荷方法や値段の付け方などの検討及び準備を進めます。

【スケジュール】

	2019年度	2020年度	2021年度
1 西園	①ウェルカムゲート整備工事 ・2019年度：建物工事、外構工事 （駐車場整備（舗装・サイン・料金ゲート）、芝生広場、植栽（2/2）） ②整備工事（バスベイ） ③西園整備工事 3/3 西園指定管理者選定	●オープン（4月） 西園指定管理者による管理	
	④用地取得		
2 プロモーション	⑤プロモーションサイト運営 ⑤開園に向けたプレイベントの実施 北園管理運営方針の策定	西園指定管理者による四季彩の杜のプロモーション	
3 農とのふれあい		⑥育苗ゾーン整備	
	⑦直売所出荷準備	●直売所オープン（4月）	

【主な事業費】

① ウェルカムゲート外構工事費	534,305 千円
① ウェルカムゲート整備工事(建築・設備等)	580,057 千円
① ウェルカムゲート整備工事監理業務委託	18,187 千円
(①)2018～2019 年度債務負担行為事業 総事業費	1,141,406 千円
② ウェルカムゲートバスベイ整備工事費	132,503 千円
③ 西園整備工事	153,000 千円
④ 用地購入費	116,204 千円
⑤ プロモーション推進業務委託料	4,800 千円
⑤ プロモーション推進ポスター等印刷費	500 千円
⑥ 育苗ゾーン整備事業補助金	26,250 千円
⑦ 直売所設立及び運営支援業務委託料	500 千円

【主な特定財源】

社会資本整備総合交付金	
(国 1/3・1/2)	542,000 千円
都市計画費補助金(都 1/3)	13,000 千円
都市農業保全支援プロジェクト事業補助金(都 3/4)	22,500 千円
都市計画事業債	798,000 千円



《ウェルカムゲート施設概要》

・敷地面積: 30,755.67 m²、建築面積: 864.38 m²、延床面積: 760.62 m²

・建物概要

- (ア) コンシェルジュ/物販棟: 案内所、店舗
- (イ) カフェ・レストラン: 飲食店
- (ウ) 無料休憩所: 休憩所、公衆便所
- (エ) 体験工房: 体験工房、料理教室など多目的利用
- (オ) バックヤード棟: 倉庫、公衆便所

・敷地概要

- ・駐車場: 139 台(うち障がい者用 4 台、バス 8 台)
- ・駐輪場: 35 台(自転車、バイク)



問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 守田	電話	724-4397
	経済観光部 観光まちづくり課長 中村		724-2128
	農業振興課長 井上		724-2166

件名	野津田公園スポーツの森整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,401,195		135,300	211,300	897,000	84,726	72,869

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 496 ページ

2014年5月に「自然の中で楽しむ総合スポーツパーク」を目指し、「町田市第二次野津田公園整備基本計画」を策定しました。総合スポーツパークとして機能を高めるため、北側拡張区域に人工芝の多目的グラウンドの整備と施設稼働率の高いテニスコートの整備を優先的に進め、「スポーツの森」としての魅力を向上します。

また、町田市立陸上競技場は、Jリーグに加盟するFC町田ゼルビアのホームスタジアムです。2021年シーズン開幕までに、J1クラブライセンスの必須条件である観客席数を確保し、プロスポーツなどの大きな大会に対応する競技環境と観戦設備を整備します。

(1) 陸上競技場観客席増設

【事業の内容】

観客席増設に伴う造成及び整備工事を行います。

※総事業費 約48億円（造成工事、増設工事、外構工事 2018～2020年度）

【スケジュール】

	2019年度	2020年度
陸上競技場 観客席増設	実施設計 観客席整備工事	
	造成工事	外構工事

※開幕戦
使用開始予定

【主な事業費】

造成工事費 102,546千円
 (2018～2019年度債務負担行為 総事業費 173,979千円)
 観客席増設工事費 786,241千円
 (2019～2020年度債務負担行為 総事業費 4,503,082千円)

【主な特定財源】

市町村総合交付金 173,000千円
 都市計画事業債 725,000千円
 広告掲載料 5,000千円



観客席増設整備イメージ

(2) 拡張区域に関する整備

【事業の内容】

多目的グラウンド周辺の造成及び多目的グラウンドを支える擁壁の築造に着手します。

【スケジュール】

	2019 年度	2020 年度	2021 年度
拡張区域整備	用地取得		
	整備工事 1/3	整備工事 2/3	整備工事 3/3

【主な事業費】

【主な特定財源】

拡張区域整備工事費	336,114 千円	社会資本整備総合交付金	
用地購入費	8,728 千円	(国 工事 1/2)	134,000 千円
拡張区域整備工事監理業務委託	10,351 千円	(国 用地 1/3)	1,300 千円
バラ園移設設計業務委託料	12,634 千円	都市計画費補助金(都 1/3)	1,300 千円
自然環境保全計画書作成委託料	1,046 千円	市町村総合交付金	37,000 千円
価格調査業務委託料	1,000 千円	都市計画事業債	172,000 千円
バラ広場設計監修業務委託料	495 千円	緑地保全基金繰入金	27,726 千円



「町田市第二次野津田公園整備基本計画」イメージ

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 守田	電話	724-4397
------	------------------	----	----------

件名	芹ヶ谷公園芸術の杜・（仮称）国際工芸美術館整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
483,438		148,000	29,000	203,000	39,480	63,958

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 111、218、495ページ

”芸術の杜”という大きなテーマの中で、芹ヶ谷公園と（仮称）国際工芸美術館を一体的に整備し、まちなかの賑わいや周辺の既存施設、様々な取組と連携させていくことで、子どもと体験という新しい視点の取組や、町田らしい多様なアート・カルチャーを体現する魅力的な企画やイベントが、緑あふれる公園やまちなかと一体となって展開される状態を目指します。

町田市立博物館は、2019年6月に展示を終了し、閉館します。この博物館に所蔵されているガラス及び陶磁器は、国内でも秀でたコレクションとして他の美術館や研究機関からも高い評価を得ています。この貴重なコレクションをこれからもより多くの人に鑑賞いただく場として、（仮称）国際工芸美術館を町田市の文化・芸術の象徴である芹ヶ谷公園”芸術の杜”と一体的に整備します。

また、“芸術の杜”の整備と並行して、市内の様々な場所で市民が文化芸術に触れることのできる機会を提供し、日ごろから文化芸術に親しんでいただくための取組により意識の醸成を図ります。併せて、町田市が所蔵する貴重なガラス及び陶磁器の魅力を広くPRし、町田市の魅力を多くの人に発信することで、市内外からの関心や機運を高め、将来の来訪者の増加につなげます。

【事業の内容】

芹ヶ谷公園と（仮称）国際工芸美術館のつながりはもちろん、国際版画美術館など既存施設との連携や、まちなかとの広がりなど全体的な視点も含めて、総合的な検討を行います。また、民間活力の導入や地域との連携を誘引する整備運営手法の検討を行うと同時に、将来の運営を見据え、公園のポテンシャルを探る実証実験等を実施し、将来の担い手につながる多様な主体の発掘・育成を行います。

芹ヶ谷公園の第1期整備区域であるさわやかみどりゾーンにおいては、芝生広場やデッキスロープ、大型滑り台等の整備工事を行います。それと並行して、モノレールの導入空間であり、芹ヶ谷公園への新たなアクセス道路となる町田3・4・11号原町田大通りの延伸具体化など、大きな環境変化も踏まえて、第2期整備区域である美術館ゾーン、アートイベントゾーン、わき水と花の明るいゾーンの基本設計に着手します。併せて、ガラスと陶磁器に特化した（仮称）国際工芸美術館について、「子ども」「体験」という視点も取り入れながら、基本設計の見直しを行います。

また、これまでの博物館の45年を伝え、次の（仮称）国際工芸美術館へ繋がる最終企画展（入館料無料）を開催します。その後は、人が多く集まる場でのアウトリーチ展示や多様な機会・メディアの活用、子どもを対象とした普及プログラム等を実施します。



青花牡丹文盤



ゴールドサンドウィッチ
狩猟文蓋付コフレット



- ① 芹ヶ谷公園芸術の杜 魅力向上検討支援
 - ・芹ヶ谷公園と(仮称)国際工芸美術館の一体的整備に係る総合的なデザイン設計(全体的な視点での検討)
 - ・実証実験(一括管理・運営者、将来の担い手、コンテンツ創出)
- ② 芹ヶ谷公園基本設計(第2期)
 - ・環境の変化を踏まえ、第2期整備に向けての基本設計の実施
- ③ (仮称)国際工芸美術館基本設計(その2)
 - ・新たなコンセプト(子ども・体験)の取り入れなどによる基本設計の見直し
- ④ 官民連携手法検討
 - ・官民連携による事業手法、制度運用の調査、検討、検証
- ⑤ 博物館閉館に伴うアウトリーチ展示等
 - ・博物館最終企画展の開催、市役所等でのアウトリーチ展示、子どもセンター等での体験講座 など
- ⑥ 芹ヶ谷公園整備工事(第1期)その2
 - ・さわやかみどりゾーンの芝生広場やデッキスロープ、大型滑り台等の整備工事の実施

【スケジュール】

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
① 芹ヶ谷公園芸術の杜魅力向上検討 + ② 芹ヶ谷公園基本設計 (第2期) + ③ (仮称) 国際工芸美術館 基本設計 (その2)	芹ヶ谷公園 (第2期) 実施設計	工事 発注	芹ヶ谷公園 (第2期) 整備工事	開園	開館
	(仮称) 国際工芸美術館 実施設計	工事 発注	(仮称) 国際工芸美術館 整備工事		
	④ 官民連携手法検討 事業手法検討	管理者 選定	管理・運営の開始 公園活用、アートコンテンツ展開		本格運営 開始
最終企画展	⑤ 博物館閉館に伴うアウトリーチ展示・普及プログラム				
⑥ 芹ヶ谷公園整備工事 (第1期)					

【主な事業費】

- ① 芹ヶ谷公園芸術の杜魅力向上検討支援委託料 4,500 千円
(2019～2020年度債務負担行為事業 総事業費 15,000 千円)
- ② 芹ヶ谷公園基本設計(第2期)委託料 4,050 千円
(2019～2020年度債務負担行為事業 総事業費 13,500 千円)
- ③ (仮称)国際工芸美術館基本設計委託料(その2) 6,000 千円
(2019～2020年度債務負担行為事業 総事業費 20,000 千円)
- ④ 官民連携事業手法検討支援委託料 15,000 千円
- ⑤ 博物館閉館に伴うアウトリーチ展示等委託料 6,972 千円
- ⑥ 芹ヶ谷公園整備工事(第1期)その2 413,244 千円

【主な特定財源】

- ④ 先導的官民連携支援事業費補助金 15,000 千円
- ⑥ 社会資本整備総合交付金(国 工事 1/2) 133,000 千円
- ⑥ 都市計画補助費(都 1/3) 29,000 千円
- ⑥ 都市計画事業債 203,000 千円

問合せ先	政策経営部 企画政策課未来づくり担当課長 樋口	電話	724-2103
	文化スポーツ振興部 文化振興課長 小田島		724-2184
	都市づくり部 公園緑地課長 守田		724-4397

件名	香山緑地整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
223,518		59,000	0	122,000	18,076	24,442

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 495 ページ

香山（かごやま）緑地は、市街地における貴重な緑の保全と都市景観の向上に資するため、2015 年度に都市計画決定を行いました。

みどり豊かな樹林地と美しい庭園及び存在感のある書院造の建物を活かし、その歴史的価値を保ちながら公園施設としての整備を行い、地域住民との交流の場の提供に加え、周辺観光施設との連携を図る観光拠点として活用を図ることで、鶴川地域への来訪者の増加につなげます。



香山緑地建物

【事業の内容】

用地取得、既存建物の耐震改修実施設計及び庭園・基盤整備の設計を行います。

【スケジュール】

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
①用地	用地取得			全体 オープン (9月)
② 管理・運営	運営事業者 募集・決定	庭園プレオープン(年度毎に期間限定)		
③ 既存建物	耐震改修実施設計	契約 手続	耐震・改修工事 (厨房・トイレ増築工事含む)	
④庭園・ 基盤整備	基本・実施設計 鶴川 197 号線 路線測量・ 道路詳細	整備工事 (鶴川 197 号線 工事含む)		

【主な事業費】

①用地購入費	180,560 千円
③既存建物改修実施設計業務委託料	6,547 千円
(2019～2020 年度債務負担行為 総事業費	21,821 千円)
④基盤整備基本・実施設計業務委託料	22,611 千円
④道路詳細設計業務委託料	3,565 千円

【特定財源】

① 社会資本整備総合交付金(国 1/3)	59,000 千円
①④都市計画事業債	122,000 千円
① 緑地保全基金	18,076 千円



香山緑地庭園

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 守田	電話	724-4397
------	------------------	----	----------

件名	高ヶ坂縄文時代遺跡公園整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
40,197		18,077	9,039	8,000	0	5,081

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 603 ページ

高ヶ坂縄文時代遺跡は牢場・稲荷山・八幡平遺跡の3地点からなる縄文時代の集落跡で、国内で初めて敷石住居跡が発見（牢場遺跡）され、大正15年に国の史跡に指定されました。史跡指定時は民有地でしたが、文化庁・東京都との協議を経て、史跡の保全・活用のために公有地化を進めてきました。

本事業によって同史跡の3地点を遺跡公園として整備し、町田が誇る縄文文化に触れられる場として活用します。



八幡平遺跡（2014年度調査時）



八幡平遺跡遺構再現（2016年度）



八幡平遺跡整備イメージ図

【事業の内容】

八幡平遺跡について、四阿（あずまや）建設および園路等の整備工事を実施します。

【スケジュール】

	2019年度	2020年度	2021年度
牢場・稲荷山遺跡公園	公開	設計（※）	整備工事（※）
八幡平遺跡公園	四阿建設を含む整備工事	整備工事、公開	

※牢場・稲荷山遺跡公園の設計・整備工事は2018年度に新たに取得した部分が対象。

【主な事業費】

整備工事費	35,855千円
工事監理委託料	2,585千円
剪定・除草委託料（牢場・稲荷山・八幡平遺跡）	1,269千円

【特定財源】

国指定文化財保存事業費補助金（国 1/2）	18,077千円
（都 1/4）	9,039千円
教育施設整備事業債	8,000千円

問合せ先	生涯学習部 生涯学習総務課長 佐藤	電話	724-2554
------	-------------------	----	----------

件名	中心市街地活性化推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
11,446			0	2,500	0	0

【事業の背景・目的】

II 部別予算概要 404 ページ

市では、中心市街地が、賑わいや交流にあふれ、新しい商品やサービスが生まれ続ける魅力あるエリアとなることを目指しています。そのために、2016年7月に策定した「町田市中心市街地まちづくり計画」に基づいて、来街者が楽しく歩きゆっくり過ごせるまちづくりなど10のプロジェクトを推進しています。

そのうち、「原町田大通り憩いと賑わい空間を創造するプロジェクト」では、来街者が中心市街地でゆっくりと楽しい時間を過ごせるようにするため、駅前の憩いの空間づくりや商店街の賑わいを連続させる空間づくりを行っています。

中心市街地に新たな賑わいを創出するためには、公共空間、特に道路空間の一層の利活用が必要です。しかしながら、交通のために造られた道路空間を別の用途に活用するには、道路管理者により特定道路占用区域に指定されるなど、道路占用の特例措置が必要となります。そのため、将来的に道路占用の特例措置を受けるための取り組みを進めます。

更に「まちの魅力情報発信プロジェクト」に基づき、駅前やまちなかでの案内強化を目的として、民間事業者と協力して町田駅近くに、情報端末及び中心市街地のイベント情報等を掲示する占用スペースを設けます。

【事業の内容】

① 都市再生推進法人[※]の指定

市では、道路空間を利活用するために、都市再生特別措置法に基づき道路占用の特例措置を受けるための準備を進めています。2019年度は、都市再生推進法人（以下、推進法人）を指定するとともに、都市再生整備計画の2020年度策定に向けた準備を行います。

※都市再生推進法人・・・都市再生特別措置法に基づき、地域のまちづくりを担う法人として、市町村が指定するものです。推進法人は市町村に対して都市再生整備計画の提案や、都市利便推進協定（オープンカフェの実施等）の締結等ができます。

② 公共空間利活用実証実験

都市再生特別措置法に基づき道路占用の特例措置を受けるためには、周辺に与える影響や事業効果を確かめる必要があります。そこで、推進法人と共同で原町田大通りの車道や歩道などを活用して、賑わい空間をつくる実証実験を行います。

③ まちなか情報案内事業

町田駅近くに民間事業者と共同で、情報端末及び中心市街地のイベント情報等を掲示する占用スペースを設けます。

情報端末では、来街者の利便性向上を図るために、バス乗り場の案内や中心市街地の施設までの経路案内を行います。また、中心市街地への来訪を促すため、イベント情報等を発信します。

④ 通行量調査

駅周辺の人の流れを調べるため、ペDESTリアンデッキを中心に町田駅周辺で通行量調査を行います。収集したデータは、まちづくりの基礎資料や広告事業などに活用するほか、民間でも活用できるようオープンデータとして広く提供します。

【スケジュール】

年度		2019		2020		2021	
		上期	下期	上期	下期	上期	下期
① 推進法人の指定	市	都市再生整備計画検討	推進法人指定		都市再生整備計画策定	特定道路占用区域指定	
	推進法人	推進法人指定申請	共同実証実験	都市再生整備計画案提案			道路占用許可特例を活用した取り組み開始
③ まちなか情報案内事業		情報案内開始		コンテンツ追加・更新・効果検証			
④ 通行量調査		通行量調査・オープンデータとして活用、経年比較					

【主な事業費】

- ① 都市再生整備計画検討支援委託料 2,400 千円
- ② 公共空間利活用実証実験負担金 3,000 千円
- ③ まちなか情報案内事業負担金 916 千円
- ④ 通行量調査委託料 5,000 千円

【特定財源】

- ④ 産業集積活性化事業費補助金 2,500 千円 (都 1/2)

② 公共空間利活用実証実験のイメージ



※大丸有エリアマネジメント協会ホームページより

③ まちなか情報案内事業のイメージ



※デザインは暫定です。

問合せ先	経済観光部 産業政策課長 井上	電話	724-3296
------	-----------------	----	----------

件名	小田急町田駅周辺地区整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
9,000		0	0	0	0	9,000

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 485 ページ

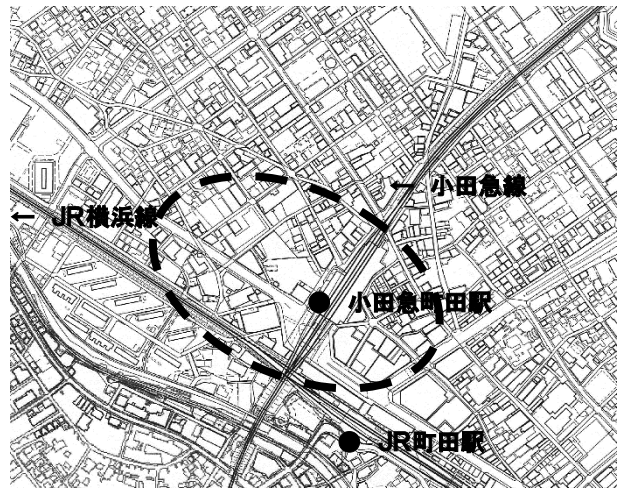
2016年7月に策定した「町田市中心市街地まちづくり計画」に掲げる「快適で便利な交通ターミナル」や、「駅前空間、大規模店舗魅力向上」等のプロジェクトの推進により、賑わいと交流に溢れるまちの実現を目指しています。

そのためには、新たな基幹交通網である多摩都市モノレールの延伸を前提とした、都市交通の問題解決と広域公共交通網の変化に対応できるターミナル機能の強化と共に、魅力ある駅前空間の創出や、商業・業務、文化・芸術などの都市機能の充実等を図る必要があります。2018年度は、広場空間・機能配置のあり方の検討につなげるため、空間特性の解析や歩行者行動調査などの基礎調査を行い、個々の場所の課題やポテンシャルの把握・整理を行いました。

【事業の内容】

歩行者流動を考慮した広場空間、新たな賑わい機能の配置のあり方の検討、交通ターミナル関連施設計画の概略検討、関係機関との協議等を進めます。

多摩都市モノレールの延伸を前提とした交通ターミナルの整備、駅前の顔となる新たな賑わいや交流の拠点の整備、集客機能の導入などの実現に向け、検討や協議を行います。



【スケジュール】

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
広場空間・機能配置のあり方の検討 交通ターミナル関連施設計画の概略検討	交通ターミナル関連施設計画の詳細検討	計画検討、マスタープラン改定等	都市計画決定、事業認可取得	
町田駅交通ターミナル機能検討 （多摩都市モノレール延伸事業）				

【事業費】

小田急町田駅周辺地区検討委託料 9,000 千円

問合せ先	都市づくり部 地区街づくり課長 原田	電話	724-4026
------	--------------------	----	----------

件名	JR町田駅南地区再整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
9,000		2,700	0	0	0	6,300

【事業の背景・目的】

2016年7月に策定した「町田市中心市街地まちづくり計画」に掲げる10のプロジェクトの一つである、町田駅南側から多くの人にまちなかへ訪れてもらう「南の玄関口のまちづくりプロジェクト」を推進するため、2017年度に「JR町田駅南地区まちづくり整備方針（以下：整備方針）」を策定しました。

この整備方針に基づき、JR町田駅ターミナル口南側に直結する、市営原町田一丁目駐車場周辺において、複合的な機能を持つ拠点施設の整備を目指します。

【事業の内容】

2018年度に検討した概略設計を基に、関係機関等と調整しながら土地利用計画や施設計画等の検討を進めます。さらに、再開発事業を推進するため権利者との合意形成を図り、再開発準備組織を設立します。

【スケジュール】

2019年度													2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
土地利用計画、施設計画等に係る検討																
調整																
権利者勉強会（準備組織立ち上げ準備）													都市計画 手続準備	都市計画 決定	事業計画 認可取得	権利変換計画 認可取得
関係機関協議（東京都）																

【事業費】

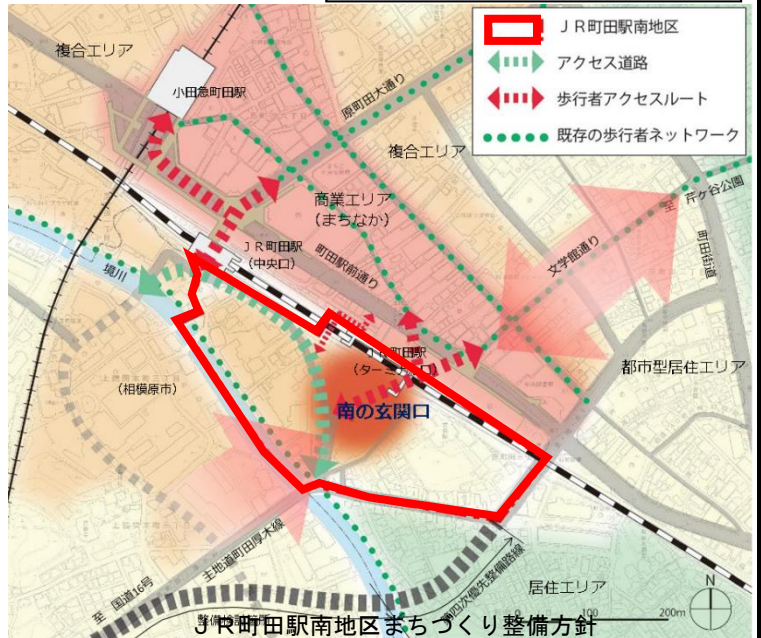
JR町田駅南地区再整備事業推進委託料 9,000千円

【特定財源】

社会資本整備総合交付金（国 1/3） 2,700千円

問合せ先	都市づくり部 地区街づくり課長 原田	電話	724-4026
------	--------------------	----	----------

II 部別予算概要 488ページ



件名	多摩都市モノレール延伸事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
393,278		0	0	0	40,000	353,278

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 465、467、485 ページ

2016年4月に国土交通省の交通政策審議会がまとめた「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について(答申)」において、「道路整備の進捗を見極めつつ、事業化に向けて関係地方行政団体・鉄道事業者等において具体的な調整を進めるべき」と一段進んだ位置づけがなされました。延伸の実現性が大きく高まったことを受け、「モノレールが走るまちの姿」をより具体的に描くことで、延伸の早期実現を目指します。

【事業の内容】

- ① モノレールと路線バスの役割分担など段階的なバス路線網再編の手法について、バス事業者と連携して検討します。また、町田駅については、駅まちマネジメント会議を通して、交通ターミナル機能の再構築等について検討を進めます。
- ② モノレール沿線において、路線バス等との円滑で快適な交通結節を実現するため、広場機能を有する拠点構築に向けた調査検討を行います。調査検討箇所として、桜美林学園付近、木曾山崎団地付近、町田市民病院付近などを想定しています。
- ③ モノレール導入空間として想定している桜台通り(都市計画道路 3・4・20(下小山田))の延伸部(新竹ノ内橋～多摩市境)について、将来道路ネットワーク構築に係る調査検討を行います。
- ④ モノレール導入空間として想定している原町田大通り(都市計画道路 3・4・11)の町田街道から芹ヶ谷公園付近の区間について、東京都の「第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業」を活用し、東京都と協働で調査検討を行います。
- ⑤ モノレール駅周辺の基盤整備等に向けた基金の計画的な積立を行います。

【スケジュール】

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
①公共交通網計画等検討 町田駅交通ターミナル機能検討		・マスタープラン 改定	・各実施主体による関係法手続き (都市計画決定、事業認可取得 軌道法特許取得、環境影響評価)	
②沿線の交通結節拠点検討				
③④モノレール導入空間の調査検討				
⑤基金積立				

【主な事業費】

- | | |
|------------------------------------|------------|
| ① 公共交通網等検討委託料(町田駅交通ターミナル検討含む) | 40,000 千円 |
| ② 多摩都市モノレール沿線交通結節拠点基本設計・測量委託料 | 45,000 千円 |
| ③ 延伸調査委託料(都市計画道路 3・4・20(下小山田)の延伸部) | 5,000 千円 |
| ④ 設計・測量委託料(都市計画道路 3・4・11(原町田)) | 40,000 千円 |
| ⑤ 多摩都市モノレール基金積立金 | 250,000 千円 |

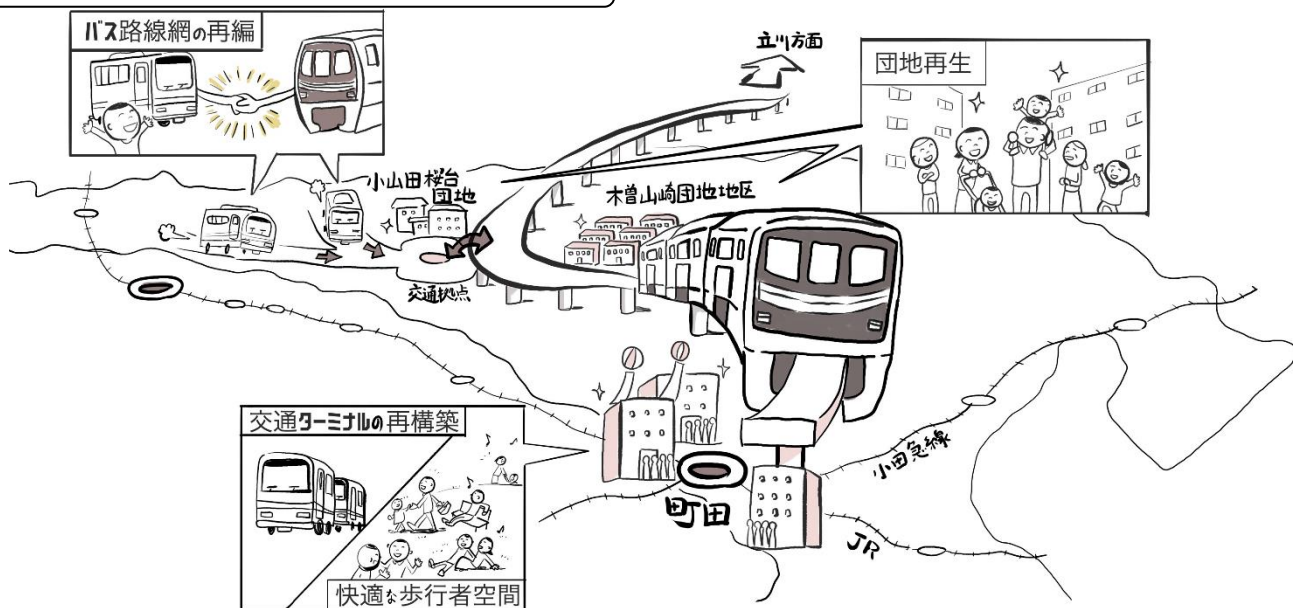
【特定財源】

道路整備事業受託収入 40,000 千円

多摩都市モノレールの延伸イメージ(その1)



多摩都市モノレールの延伸イメージ(その2)



問合せ先	都市づくり部 都市政策課多摩都市モノレール推進室長 竹川	電話	724-4077
	道路部 道路整備課長 北川		724-1122

件名	小田急多摩線延伸促進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
10,000		0	0	0	0	10,000

Ⅱ 部別予算概要 490 ページ

【事業の背景・目的】

小田急多摩線の唐木田駅から上溝駅への延伸は、首都圏南西部の交通ネットワークの拡充が図られ、地域の交通利便性が飛躍的に向上します。さらに、まちづくりの促進や地域経済・産業、住民間交流の活性化に大きく寄与します。

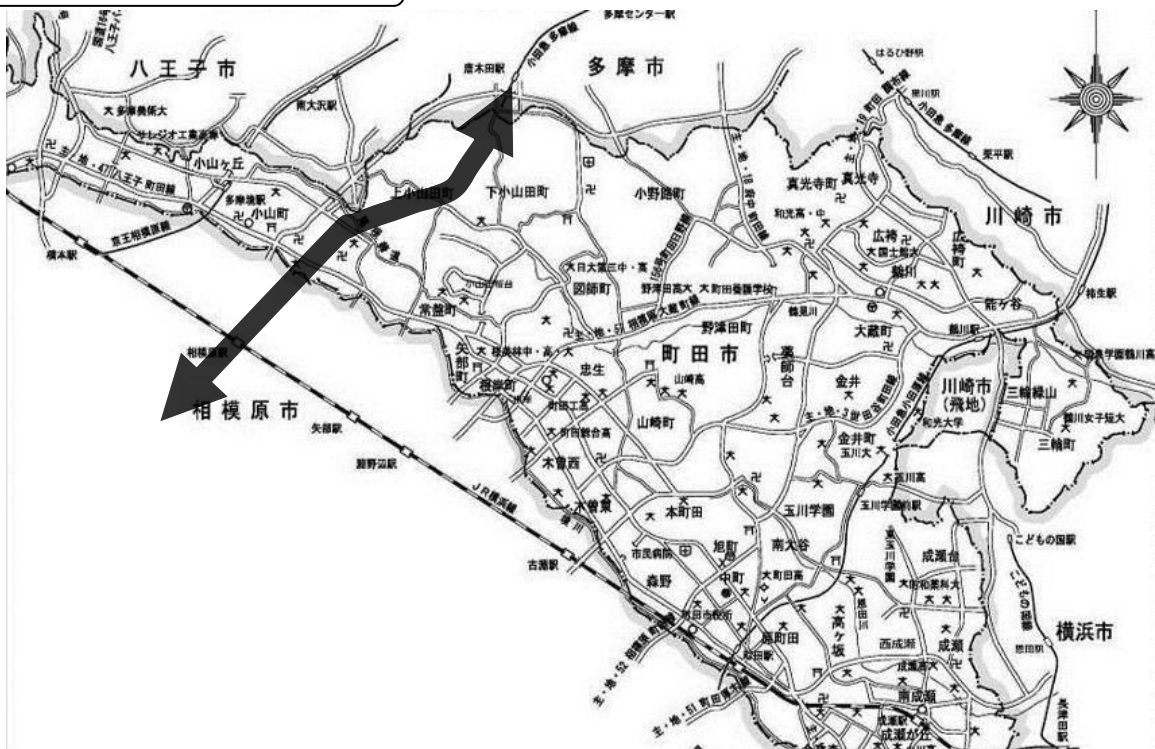
2014年5月には、町田市、相模原市の両市長間で、「小田急多摩線延伸の推進に関する覚書」を交わし、2027年までの延伸線開業を目指した取り組みを進めることについて合意しました。

本延伸線は、2016年4月に国土交通省の交通政策審議会がまとめた答申において、『「東京圏の都市鉄道が目指すべき姿」を実現する上で意義のあるプロジェクト』とされ、事業化に向けて大きく前進しました。

【事業の内容】

2018年度に引き続き、延伸の早期実現を目指して、答申で示された収支採算性等の課題の解決に向け、関係機関との調整・協議を進めるとともに、相模原市と共同で必要な調査検討等を実施します。

小田急多摩線の延伸イメージ



【事業費】

小田急多摩線共同調査負担金 10,000 千円

問合せ先	都市づくり部 交通事業推進課長 岩岡	電話	724-4260
------	--------------------	----	----------

件名		路線バス利用促進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
104,276		0	0	0	150	104,126
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要 490 ページ		
<p>町田市は、鉄道駅が市域の外縁部に位置していることから、路線バスが鉄道駅までの交通手段として大きな役割を担っています。特に、町田駅は多くのバス路線が集中し、利用者も多く、都内でも有数のバスの拠点となっています。そのため、町田駅への路線バスの一極集中は、乗降場所のわかりにくさや周辺道路の混雑を招く要因となっています。</p> <p>このような背景の中で、『路線バスが利用しやすく快適に移動できるまちにする』ことを目的に、「町田市便利なバス計画」を通じてこれまで推進してきた、乗り継ぎ拠点の整備や交通空白地区の解消も含め、新たな公共交通網の姿を各交通事業者と共有し、十分に連携した取組を多角的に展開し、便利で利用しやすいバスのネットワーク構築を目指します。</p>						
【事業の内容】						
①小山田桜台を拠点とした唐木田方面への小型バス導入						
<p>2018年度に引き続き、小山田桜台、多摩南部地域病院間運行事業を旅客定員10名のワゴン車による運行を実施します。また、検証運行の結果、当初の想定よりも利用者が多く、乗り切れない状況が発生していることなどを踏まえ、旅客定員35名の小型バスを使用した運行を2019年8月1日から実施します。</p>						
②バス利用促進等総合対策事業補助						
<p>市民要望が多いバス停の上屋やベンチを設置する事業者に対して、設置費用の一部を補助します。</p>						
③連節バス導入に伴う法政大学入口交差点改良工事						
<p>法政大学の大学生の通学時間帯に発生している相原駅西口広場の混雑緩和を目的として、連節バスを導入するために、法政大学入口交差点の改良を行います。</p>						
④連節バス車両購入等補助						
<p>町田バスセンターでのバス利用者による混雑を緩和し、市民が路線バスを利用しやすく快適に移動できる環境を確保するため、町田バスセンターと山崎団地センター間の輸送力強化を目的に、連節バスを購入するバス事業者に対して、費用の一部を補助します。</p>						
【主な事業費】						
①路線バス新規路線導入実証実験運行事業補助金（小山田桜台ルート）		32,850千円				
②バス利用促進等総合対策事業補助金（バス停上屋・ベンチ設置）		3,700千円				
③改修工事費（法政大学入口交差点改良）		1,951千円				
④連節バス車両購入等補助金		65,625千円				
【特定財源】						
広告掲載料（バス案内表示板）		150千円				
問合せ先	都市づくり部 交通事業推進課長 岩岡			電話	724-4260	

件名		地域コミュニティバス運行事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
23,382			0	0	0	1,274
【事業の背景・目的】		Ⅱ 部別予算概要 490 ページ				
<p>市内の公共交通は、路線バスが大きな役割を担っていますが、狭あいな道路が散在することや、事業採算が見込めないことから、路線バスが運行されず、公共交通での移動が不便な地域があります。</p> <p>また、高齢化の進展に伴い、自動車を運転しない方が増加していくことが予測され、その移動の受け皿となる公共交通サービスの充実が求められています。</p> <p>このような背景の中で、移動が不便な地域の移動環境を向上させるため、地域住民や運行事業者と市が協働して地域コミュニティバス等を運行するとともに、新たな公共交通サービスの導入を目指します。</p>						
【事業の内容】						
1 現路線の取り組み						
現在運行している玉川学園地区コミュニティバス「玉ちゃんバス」、金森地区コミュニティバス「かわせみ号」の運行に必要な経費の補助を行います。						
2 公共交通サービスの新規路線導入に向けた実証実験						
狭あいな生活道路が多く、小型バスの導入が困難な地域において、小型乗合交通の導入を検討しています。①相原地区では、2018年2月～3月・2018年10月～3月の実施に引き続き、実証実験運行を行います。また、②つくし野地区、③本町田地区においても、小型乗合交通の実証実験運行を行います。						
<想定内容>						
①相原地区						
実験期間	2019年4月～2019年9月（運行日数：平日のみの121日）					
運行便数・運賃	1日13便（上り6便、下り7便）、現金200円均一					
使用車両	セダン車両（旅客定員4名）					
②つくし野地区						
実験期間	2019年10月1日～3月31日（運行日数：平日のみの124日）					
運行便数・運賃	1日12便、現金200円程度					
使用車両	セダン車両（旅客定員4名）、またはワゴン車（旅客定員10名）					
③本町田地区						
実験期間	2019年10月1日～12月27日（運行日数：平日のみの61日）					
運行便数・運賃	1日12便、現金200円程度					
使用車両	セダン車両（旅客定員4名）、またはワゴン車（旅客定員10名）					
【主な事業費】			【特定財源】			
小型乗合交通導入実証実験運行事業			まちだ未来づくり基金繰入金	995千円		
奨励金	12,931千円		広告掲載料	279千円		
地域コミュニティバス運行事業補助金	9,498千円					
問合せ先	都市づくり部 交通事業推進課長 岩岡			電話	724-4260	

件名	里山環境整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
37,172		0	12,000	0	0	25,172

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 399 ページ

北部丘陵には、手入れが行き届かない山林や耕作されていない農地が多くあり、これらに人の手が入ることで里山環境の再生・保全を図ることができます。また、良好な里山環境は、散策コース等の観光資源として活用ことができ、地域の活性化につながります。

そこで、「町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン」を推進し、地域住民や里山環境保全活動に取り組む団体等の様々な担い手との協力による良好な里山環境の実現を目指します。また、北部丘陵における活動が、市内の里山環境の再生・保全につながることを目指します。

【事業の内容】

- ① 手入れが行き届いていない山林と、山林を管理しながら活用したい団体等との橋渡しを行う「山林バンク」制度について、モデル事業を実施しながら本格運用に向けた準備を進めます。そこで、山林活用の検討資料とするため、山林の地形や植生、接道などの現況を把握する里山環境調査を実施します。
- ② 里山環境における草刈、竹伐採等を中心とした管理について、団体等がアイデアを活かして活動しやすくするため、補助金制度を活用します。
- ③ 耕作されていない市有農地を適正に利用するため、農地整備を行います。

【スケジュール】

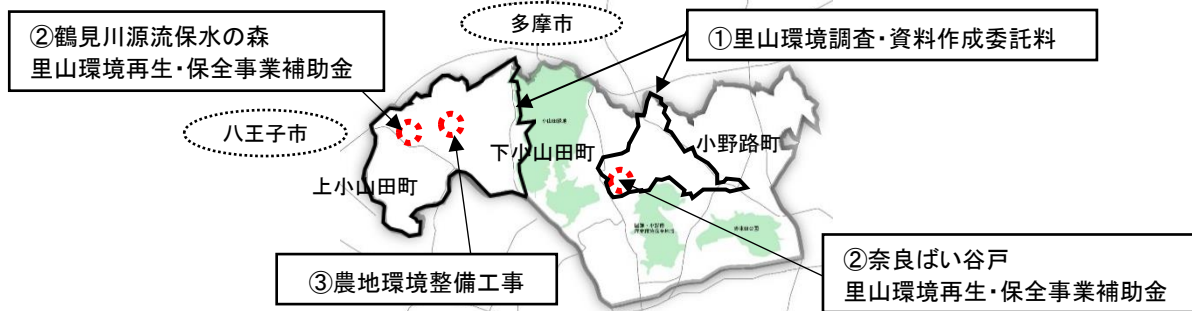
	2018年度	2019年度	2020年度
①（仮称）町田市山林バンクの実施	モデル事業の実施		山林バンク本格運用開始
② 里山環境の再生・保全	里山環境整備事業委託	里山環境再生・保全事業補助	里山環境再生・保全事業補助
③ 農地の改善・整備	農地：約 1,600 m ²	農地：約 2,500 m ²	農地：約 2,500 m ²

【主な事業費】

【特定財源】

- | | | | |
|------------------|-----------|-----------------|-----------|
| ① 里山環境調査・資料作成委託料 | 6,000 千円 | ② 環境政策推進区市町村補助金 | 2,000 千円 |
| ② 里山環境再生・保全事業補助金 | 4,000 千円 | (都 1/2) | |
| ③ 農地環境整備工事費 | 20,000 千円 | ③ 土地改良事業費補助金 | 10,000 千円 |
| | | (都 1/2) | |

<主な整備箇所>



問合せ先	経済観光部 農業振興課北部・里山担当課長 石井	電話	724-2164
------	-------------------------	----	----------

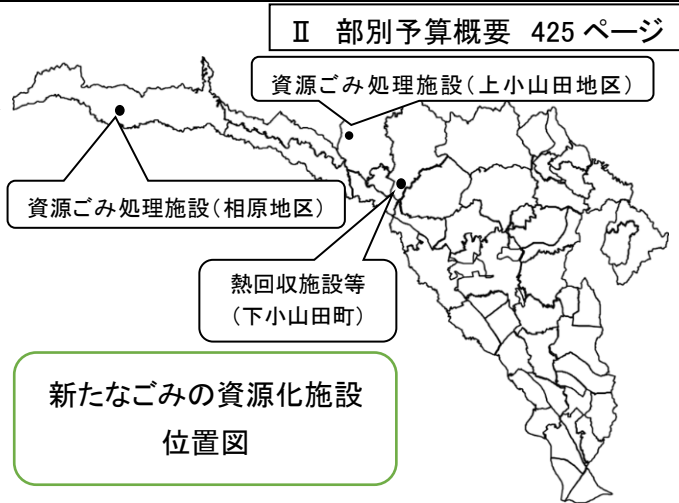
件名	循環型施設整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
4,126,201		1,150,070	324,000	2,241,600	76,710	333,821

【事業の背景・目的】

「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき、資源を有効に利用する循環型社会の構築に向けて、老朽化したごみ処理施設に代わり、新たなごみの資源化施設を分散して配置するものです。

熱回収施設等（焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設）を町田リサイクル文化センター敷地内に、資源ごみ処理施設（容器包装プラスチック、ビン、カン等）を市内2箇所（相原地区、上小山田地区）に整備します。

また、周辺地域の魅力向上や地域交流を促進するため、周辺環境の整備を行います。



II 部別予算概要 425 ページ

【事業の内容】

1 熱回収施設等

2018 年度に引き続き、施設整備工事を進めます。2019 年度は地下躯体工事完了を予定しています。

＜事業概要＞

事業名	町田市熱回収施設等(仮称)整備運営事業
建設地	下小山田町 3160 番地(町田リサイクル文化センター敷地内)
面積	敷地面積：約 77,000 m ² 延床面積：工場棟約 17,000 m ² 、管理棟約 5,200 m ²
事業方式	施設の設計・建設・解体及び約 20 年間の運営を包括的に委託する、DBO 方式（公設民営）
業務概要	施設整備業務：設計・建設・解体(既存施設)(2016 年 12 月～2024 年 6 月) 施設運営業務：運営管理・維持管理(2022 年 1 月～2041 年 3 月)
施設概要	熱回収施設(焼却施設)：ストーカ方式 258t/日(129t/日×2 炉) バイオガス化施設：乾式高温メタン発酵 50t/日 不燃・粗大ごみ処理施設：機械選別・手選別 47t/5h



現況写真（2018 年 12 月現在）



熱回収施設等 完成イメージ図

【スケジュール】

(年度)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	～2040	
1 熱回収施設等	★ 契約	設計		施設整備工事			稼働	運営			
		造成工事					既存工場棟解体工事等				
		旧管理棟等 解体工事									

2 資源ごみ処理施設(相原地区及び上小山田地区)

2019年度は、資源ごみ処理施設整備に向けた測量や法令手続きの準備等を行います。

3 (仮称)蓮田公園整備事業及び(仮称)大戸広場整備事業

2019年度は、施設周辺の環境整備を促進するため、(仮称)蓮田公園整備の基本計画、及び(仮称)大戸広場整備の基本構想の策定を進めます。

【主な事業費】

1 熱回収施設等

整備工事費(熱回収施設等整備費) 3,477,672 千円

(2016～2040年度債務負担行為事業 総事業費 46,443,618 千円)

工事監理委託料(熱回収施設等設計施工監理業務委託) 33,820 千円

(2016～2024年度債務負担行為事業 総事業費 287,280 千円)

特別高圧受電線引込負担金(熱回収施設等特別高圧受電線引込負担金) 70,000 千円

(2017～2021年度債務負担行為事業 総事業費 464,950 千円)

2 資源ごみ処理施設(相原地区、上小山田地区)

物件等補償料(相原地区) 202,527 千円

用地購入費(相原地区) 180,000 千円

測量委託料 28,515 千円

3 (仮称)蓮田公園整備事業及び(仮称)大戸広場整備事業

計画策定委託料 9,642 千円

(内訳)(仮称)蓮田公園基本計画策定業務委託 4,642 千円

(仮称)大戸広場基本構想策定業務委託 5,000 千円

【特定財源】

循環型社会形成推進交付金(国 1/2・1/3) 1,150,070 千円

市町村総合交付金(都) 324,000 千円

廃棄物処理施設整備事業債 2,241,600 千円

廃棄物減量再資源化等推進整備基金繰入金 76,710 千円

問合せ先	環境資源部 循環型施設整備課長 平本	電話	724-4384
------	--------------------	----	----------

件名	(仮称) 町田スポーツ公園整備事業					
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
102,053		0	0	31,000	0	71,053

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 430、495 ページ

2017 年度に策定した「熱回収施設等の周辺施設整備基本構想」に基づき、最終処分場の一部（池の辺地区）を閉鎖し、その上部に多目的広場やバスケットボールコートなどの整備を行うことで、多世代が集える（仮称）町田スポーツ公園として活用を図ります。

【事業の内容】

池の辺地区については、2018 年度に作成した「(仮称)町田スポーツ公園基本設計」に基づき、実施設計を行います。また、処分場閉鎖に向けて、最終覆土等工事を行います。

峠谷地区については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく閉鎖と基本構想に基づいた上部利用を可能にするため、工法や整備手順についての検討を行います。

【スケジュール】

	2019 年度												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
公園整備			実施設計										
処分場閉鎖手続			最終覆土等工事										

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
公園整備	整備工事 1/2	整備工事 2/2	開園(4月)
処分場閉鎖手続	埋立処分 終了届提出		

【事業費】

【特定財源】

池の辺地区最終覆土等工事請負費	54,250 千円	都市計画事業債	31,000 千円
(仮称)町田スポーツ公園実施設計委託料	42,303 千円		
峠谷地区閉鎖工法等検討支援委託料	5,500 千円		

【整備イメージ図】



問合せ先

都市づくり部 公園緑地課長 守田
環境資源部 資源循環課長 林

電話

724-4397
797-2732

件名	鶴川駅周辺街づくり事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
146,898		0	0	0	0	146,898

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 471、488 ページ

2016年10月策定した「鶴川駅周辺再整備基本方針」に基づき、都市基盤整備を行い、土地利用の増進や都市防災の向上等を進め、交通便利と生活環境等の改善を図ります。また、市の副次核にふさわしい活力と魅力にあふれた街を実現します。

【事業の内容】

○北口交通広場の再編及び自由通路整備

北口交通広場は、都市計画変更及び、交通管理者と設計協議を進めながら予備設計、地質調査、測量を行います。

また、南北自由通路は、都市計画決定及び、基本設計を行います。

○南口市街地整備

土地区画整理事業の都市計画変更及び、事業認可を取得します。

また、南口アクセス路については、交通管理者、道路管理者等と協議を進めながら、基本設計を行います。

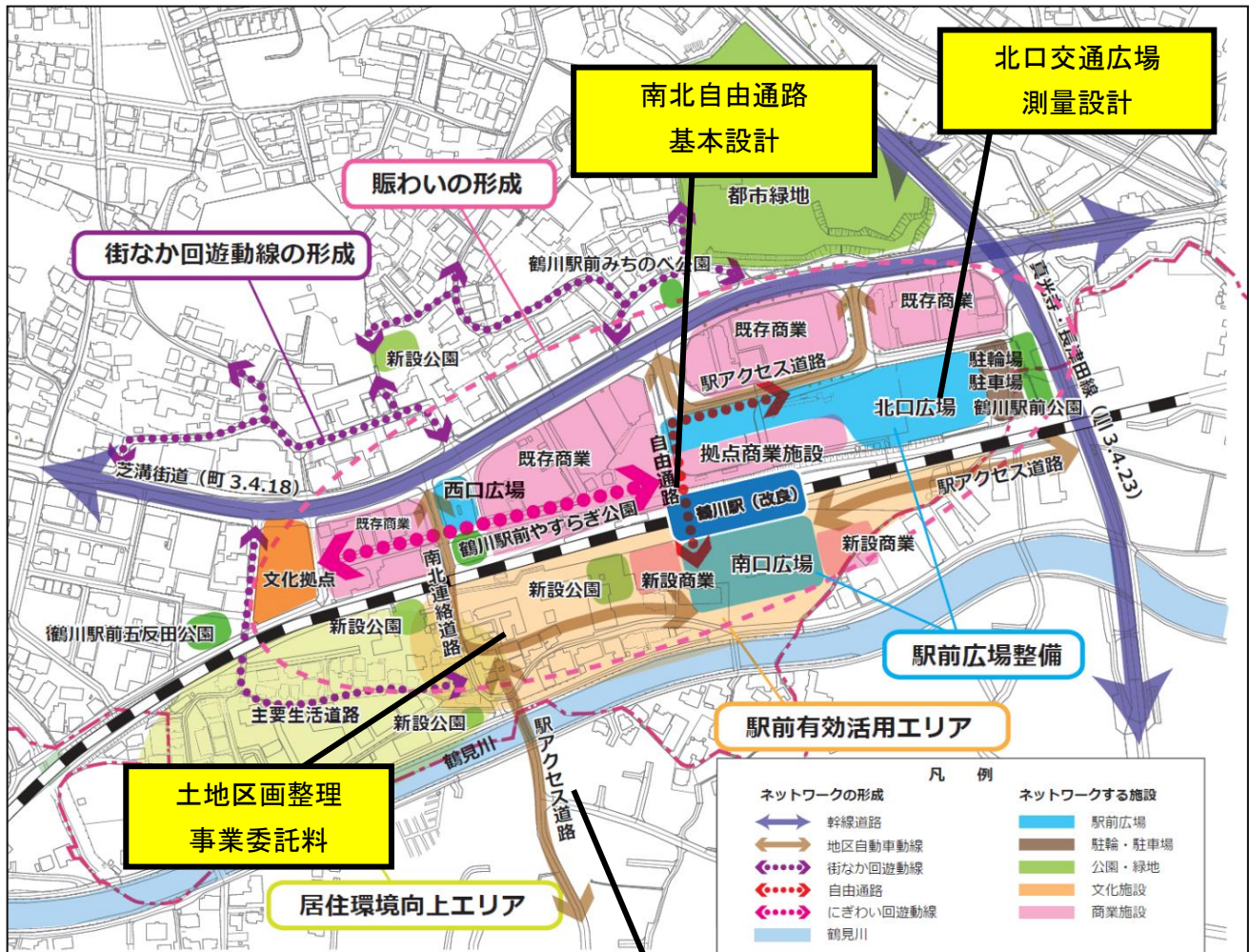
【スケジュール】

2019年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北口交通広場整備	都市計画変更					☆告示						
	予備設計、地質調査、測量											
南北自由通路整備	都市計画決定					☆告示						
	基本設計											
	☆基本設計協定締結(小田急電鉄)											
南口土地区画整理事業	都市計画変更					☆告示						
	事業認可											☆告示
南口アクセス路整備	川崎市、神奈川県警協議											
	基本設計											

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
北口交通広場整備	事業認可	用地取得	整備工事		
	実施設計				
南北自由通路整備	実施設計	事業認可	桁製作	整備工事	
南口土地区画整理事業	換地設計、用地取得、工事測量	換地設計	土地区画整理工事 駅前交通広場整備(～2026年度)		
駅舎改良	基本設計	実施設計	整備工事(～2024年度)		

【主な事業費】

土地区画整理事業委託料	52,407 千円
北口交通広場測量設計委託料	29,980 千円
鶴川駅前公園撤去工事	20,000 千円
南北自由通路整備負担金	19,600 千円



南口アクセス路
基本設計

問合せ先	都市づくり部 地区街づくり課長 原田	電話	724-4214
	道路部 道路整備課長 北川		724-1122

件名	相原駅周辺街づくり事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
123,249		0	48,900	47,000	0	27,349

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 455、488 ページ

相原駅周辺の新たな土地利用や都市基盤整備等について検討を行い、暮らしを支え、地域の顔となるようなにぎわいと活気ある生活中心地にふさわしい駅前づくりを実施します。

【事業の内容】

○駅東口の街づくり

町田街道の立体交差化に伴い、駅前広場方向及び堺市民センターへのアクセス確保や、駅周辺の賑わいの創出を図るため、新たなアクセス路の整備を行います。そのための設計及び用地取得を行います。また、都市計画変更を見据えたまちづくりの検討を行います。

○駅西口の街づくり

駅前にふさわしい新たな土地利用を検討する「まちづくり勉強会」へアドバイザーを派遣し、支援を行います。

【スケジュール】

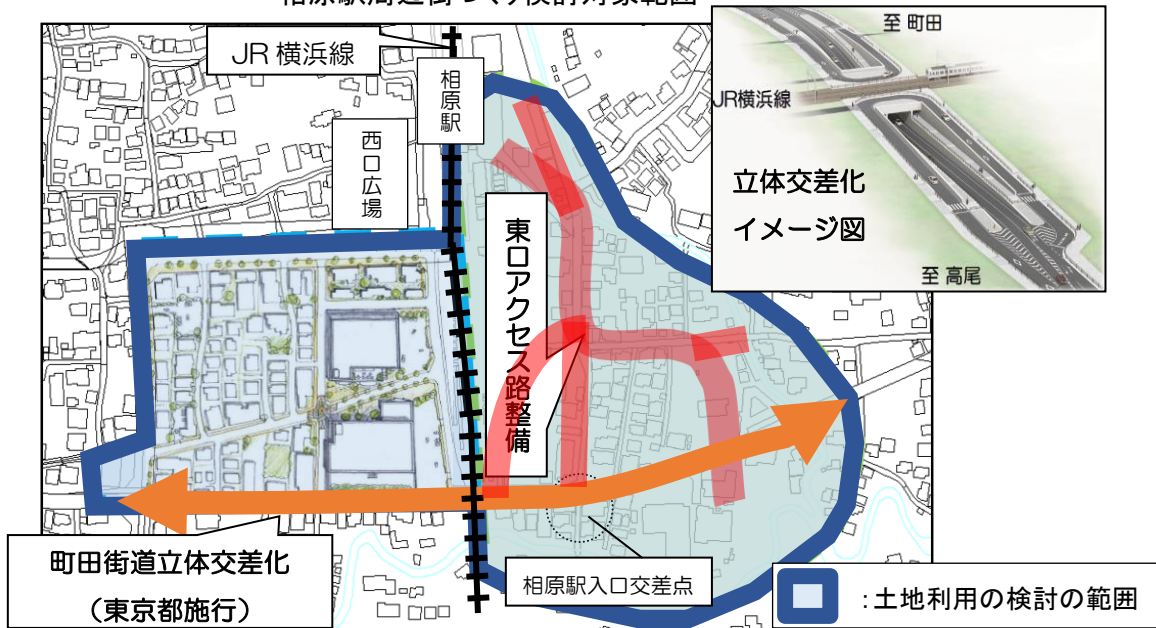
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
駅東口	まちづくり検討(都市計画変更に向けた検討)											
	詳細設計										用地取得	
駅西口	整備手法の検討(関係機関等協議及び地権者個別調整)、勉強会の実施											

【主な事業費】

アクセス路用地購入費	60,000 千円	アクセス路物件等補償料	42,000 千円
アクセス路設計委託料	9,956 千円	街づくり検討支援委託料	2,163 千円

【特定財源】道路橋梁費補助金(都 1/2) 48,900 千円 道路整備事業債 47,000 千円

相原駅周辺街づくり検討対象範囲



問合せ先	都市づくり部 地区街づくり課長 原田 道路部 道路整備課長 北川	電話	724-4214 724-1122
------	-------------------------------------	----	----------------------

件名	忠生 579 号線新設・忠生 630 号線改良事業					
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
744,736		0	181,300	259,000	0	304,436

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 458 ページ

円滑な通行と交通の安全を確保するため、都市計画道路と生活道路を結ぶ準幹線道路を整備します。

【事業の内容】

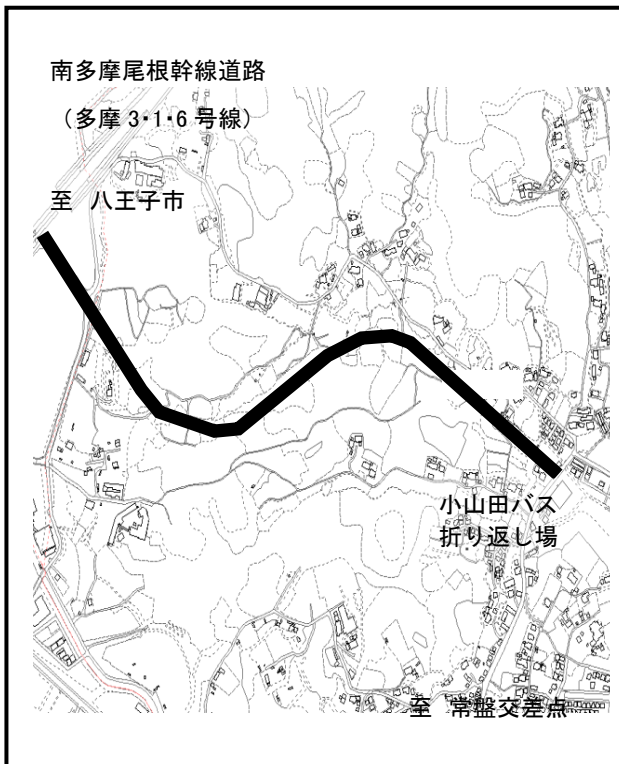
○忠生 579 号線(整備延長 1,300m)

北部丘陵地域である小山田地区の地域生活環境の向上を図るとともに、地域まちづくりのための骨格道路を整備することにより交通の円滑化を図ります。2027 年度の開通を予定しています。

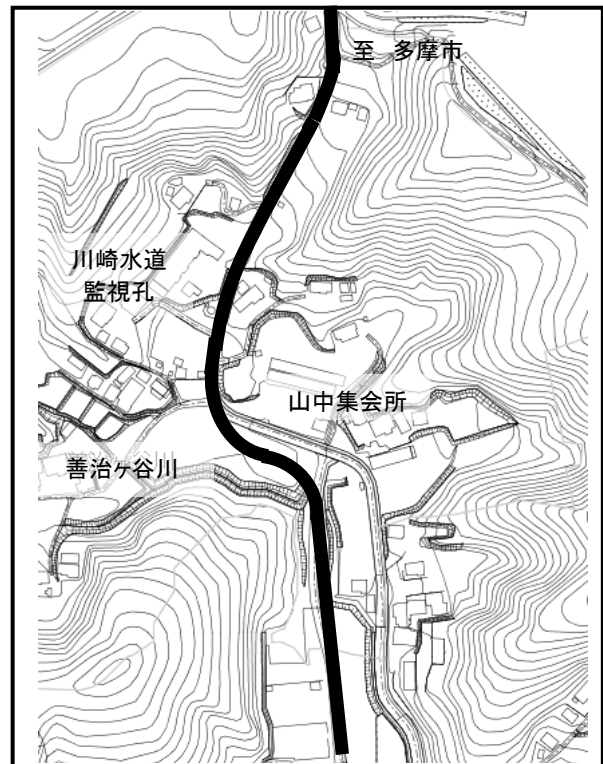
○忠生 630 号線(整備延長 650m)

都市計画道路 3・4・40 号線の整備が予定されている中、周辺の土地利用により交通量の増加が見込まれているため、本路線の整備により交通の円滑化を図ります。2021 年度の開通を予定しています。

忠生 579 号線 案内図



忠生 630 号線 案内図



【主な事業費】

○忠生 579 号線

測量委託料 13,000 千円

○忠生 630 号線

用地購入費 205,314 千円 整備等負担金 191,000 千円 整備工事費 156,600 千円

物件等補償料 151,500 千円

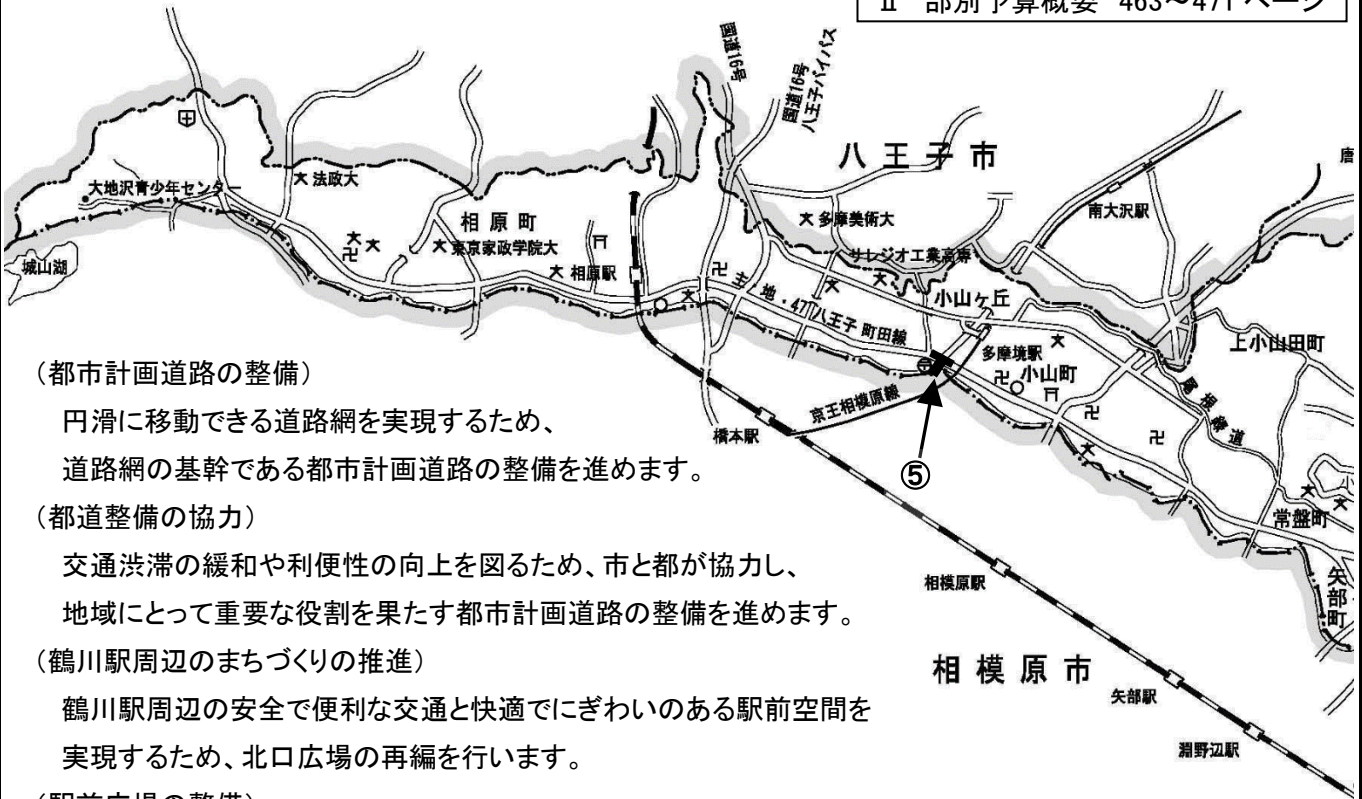
【特定財源】

道路橋梁費補助金(都 1/2) 181,300 千円 道路整備事業債 259,000 千円

問合せ先	道路部 道路整備課長 北川	電話	724-1122
------	---------------	----	----------

件名	都市計画道路整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
667,399		0	85,300	271,000	164,730	146,369

II 部別予算概要 463～471 ページ



(都市計画道路の整備)

円滑に移動できる道路網を実現するため、道路網の基幹である都市計画道路の整備を進めます。

(都道整備の協力)

交通渋滞の緩和や利便性の向上を図るため、市と都が協力し、地域にとって重要な役割を果たす都市計画道路の整備を進めます。

(鶴川駅周辺のまちづくりの推進)

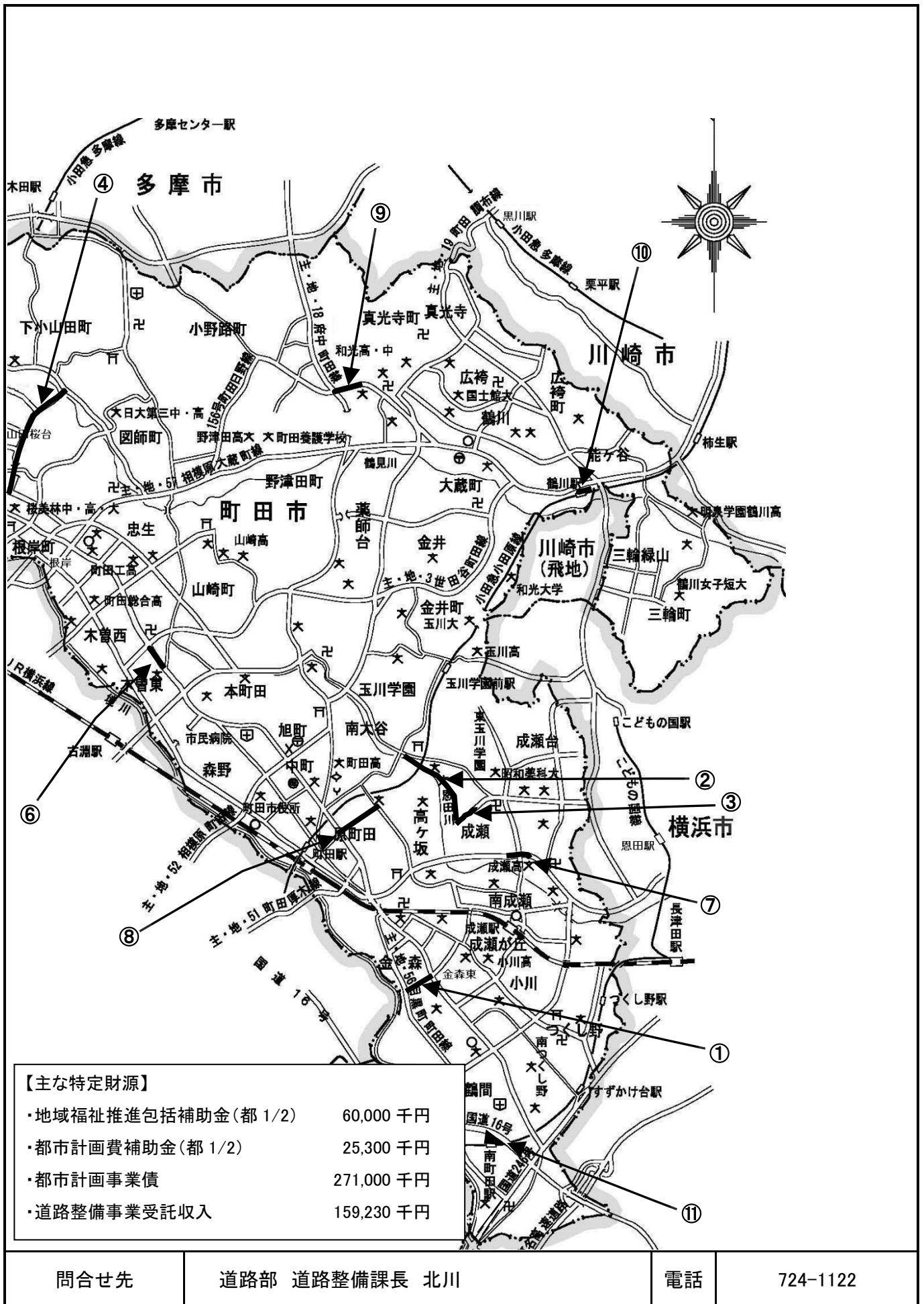
鶴川駅周辺の安全で便利な交通と快適でにぎわいのある駅前空間を実現するため、北口広場の再編を行います。

(駅前広場の整備)

地域の交通拠点としての利便性向上を図るため、南町田駅の駅前広場の整備を進めます。

単位：千円

重点事業名等	箇所番号	個別事業名	事業費	備考
都市計画道路の整備	①	都計道3・4・34(金森) 【金森住宅通り】	3,700	町田街道から藤沢街道へのアクセス道路
	②	都計道3・4・34(南大谷) 【本町田金森線】 【環状1号線小田急立体交差】	26,500	町田駅・中心市街地を迂回し、市の南北を結ぶ環状線
	③	都計道3・4・9(成瀬) 【成瀬けやき通り】	10,332	中心市街地への通過交通の流入を防ぐとともに、横浜市方面への道路ネットワークの強化
	④	(仮称)都計道3・4・20(下小山田) 【多摩都市モノレール延伸促進】	10,000	多摩都市モノレール導入空間の確保に向けて必要な調査を実施 ※「多摩都市モノレール延伸事業(62ページ)」から一部再掲
	⑤	都計道3・4・41(小山) 【多摩ニュータウン通り】	69,475	相模原市へのアクセス道路 2022年度利用開始予定
都道整備の協力	⑥	都計道3・4・38(木曾東) 【町田街道】	37,000	都との協働事業 木曾交差点から木曾交番前までの区間 2019年度利用開始予定
	⑦	都計道3・4・7(成瀬) 【成瀬街道】	60,400	都との協働事業 成瀬街道の成瀬コミュニティセンター前交差点付近の整備
	⑧	都計道3・4・11(原町田) 【原町田大通り】	40,000	都との協働事業 町田街道の原町田五丁目交差点から都計道3・3・36までの区間 ※「多摩都市モノレール延伸事業(62ページ)」から再掲
	⑨	都計道3・4・22(小野路) 【大蔵小野路線】	54,830	都との協働事業 鎌倉街道の小野路交差点付近の整備
鶴川駅周辺のまちづくりの推進	⑩	鶴川駅北口広場	39,680	交通便利と生活環境等の増進を図る ※「鶴川駅周辺街づくり事業(72ページ)」から一部再掲
駅前広場の整備	⑪	南町田駅北口広場	315,482	バス乗降場の屋根設置 ※「南町田駅周辺地区拠点整備事業(44ページ)」から再掲



【主な特定財源】

・地域福祉推進包括補助金(都 1/2)	60,000 千円
・都市計画費補助金(都 1/2)	25,300 千円
・都市計画事業債	271,000 千円
・道路整備事業受託収入	159,230 千円

問合せ先	道路部 道路整備課長 北川	電話	724-1122
------	---------------	----	----------

件名	公共施設等維持保全事業						
	予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	3,517,973		487,207	43,053	2,072,400	541,456	373,857

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 149～153、452、453、492、497、570、571、580 ページ

町田市の公共施設は、その半数以上が 30 年以上経過しており、老朽化した施設の安全性を確保し、快適に使用できるよう維持保全する必要があります。

2018 年度に策定した町田市公共施設再編計画では、過去 4 年間(2013～2016 年度)で市が支出した建築物の維持管理費用は、1 年間に平均すると事業費で約 54 億円でしたが、今ある施設をこのまま維持した場合、2018 年度から 2055 年度までの 38 年間では、1 年間で事業費を約 89 億円要し、仮に現在と同程度の維持管理費用を今後も捻出できたとしても、単年度あたり約 35 億円もの維持管理費用が不足すると試算しています。

現実の問題として、すでに 2019 年度で改修工事が完了する室内プールをはじめ、総合体育館などの大規模施設が築後 20 年～30 年となり、大規模改修が必要な時期を迎えています。

このため、維持していく建物については施設建築年数や施設劣化状況をふまえ計画的に長寿命化工事を行い、施設の安全性の確保や、財政負担の平準化を図ります。

【主な事業内容】

1 市有建築物全般

<室内プール(1989 年築)> (工事 2 年目)

老朽化が進んでいる天井、電気設備、給排水衛生設備、空気調和設備を改修します。工事期間中、施設は休館する予定です。

工事予定期間 2018 年 7 月～2019 年 9 月*

(※工事の都合により、工期を 2019 年 11 月に延長する予定です。)

【事業費】 改修工事費 1,422,678 千円

【特定財源】 防災・安全交付金(国) 18,541 千円

スポーツ施設整備費補助金(都) 4,653 千円

体育施設整備事業債 1,071,000 千円

(2018～2019 年度債務負担行為事業 総事業費 1,892,334 千円)



<室内プール>

<自由民権資料館(1986 年築)>

老朽化が進んでいる外壁、屋上防水、電気設備、空気調和設備を改修します。工事期間中、施設は休館する予定です。

工事予定期間 2019 年 9 月～2020 年 3 月

【事業費】 改修工事費 109,755 千円

【特定財源】 公共施設整備等基金繰入金 21,000 千円

生涯学習施設整備事業債 88,000 千円



<自由民権資料館>

問合せ先 財務部 営繕課長 田中 電話 724-1293

2 学校施設

<校舎等の改修(町田第六小学校・南つくし野小学校・成瀬台中学校)>

町田第六小学校の防音サッシへの取替え、防音仕様の空調機への取替え及び取替えに伴う天井改修等を行います。また、南つくし野小学校及び成瀬台中学校の中規模改修を行います。

【主な事業費】	学校施設整備工事費	810,844 千円
	工事監理委託料	22,630 千円
【主な特定財源】	防音施設周辺防音事業費補助金(国 10/10)	278,188 千円
	学校施設環境改善交付金(国 1/3)	127,545 千円

<学校設備等の更新>

屋上防水改修や受変電設備、老朽化している給食棟更新等の設計(小学校 8 校、中学校 1 校)及び整備工事(小学校 4 校、中学校 3 校)を行います。

【主な事業費】	学校施設整備工事費	179,237 千円
	設計委託料	32,768 千円
【主な特定財源】	学校施設整備事業債	126,000 千円

問合せ先 学校教育部 施設課長 浅沼 電話 724-2174
保健給食課長 有田 電話 724-2177

3 市営住宅

金森市営住宅(5号棟)の外壁改修、本町田市営住宅の外壁改修及び屋上防水の改修を行います。

【事業費】	施設等管理委託料	119,464 千円
【主な特定財源】	防災・安全交付金(国 4.5/10)	25,069 千円

問合せ先 都市づくり部 住宅課長 泉 電話 724-4269

4 公園施設

今後進展する老朽化に対する安全対策の強化及び改築・更新費用の平準化を図る観点から、公園施設長寿命化対策工事を行います。

【主な事業費】	改修工事費	50,000 千円
【主な特定財源】	社会資本整備総合交付金(国 1/2)	20,000 千円
	都市計画事業債	18,000 千円

問合せ先 都市づくり部 公園緑地課長 守田 電話 724-4397

5 道路・橋梁

安全で快適に通行できるよう、道路の舗装補修工事等を行います。

老朽化した橋梁やペDESTリアンデッキの点検や補修工事を計画的に行い、施設の長寿命化を図ります。

【主な事業費】	舗装補修工事費	125,000 千円
	橋梁点検調査委託負担金	29,654 千円
【主な特定財源】	防災・安全交付金(国 1/2)	5,900 千円
	道路橋梁費補助金(都 3/10、2.25/10)	38,400 千円

問合せ先 道路部 道路維持課長 林田 電話 724-1121

件名	公共施設等マネジメント事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
10,610		0	0	0	0	10,610

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 110 ページ

「町田市公共施設等総合管理計画（基本計画）」に定める基本方針等に基づき、これからの時代にふさわしい新しい公共施設・公共空間づくりを着実に進めていくための計画、「みんなで描こう より良いかたち町田市公共施設再編計画」を2018年6月に策定しました。

この再編計画に基づき、2018年度から38年間の「26の施設機能毎の今後の方向性」や、2018年度から2026年度までの9年間に取り組む内容をまとめた「短期再編プログラム」を推進していく必要があります。今後も、公共施設再編の意義や必要性について周知する機会を増やし、より多くの方々に興味、関心を持っていただくとともに、みんなで考える場を設け、市民の皆様や事業者の皆様との「対話」を十分に行いながら、「公共施設・公共空間のより良いかたち」の実現を目指します。

【事業の内容】

- ① 公共施設再編への共通理解 …公共施設の現状や再編の意義、必要性について、市民や事業者等へ広く周知、宣伝するとともに、地域へ赴き、アンケート方式により幅広い世代の意見を収集します。
 - ② 再編の取り組みの検討 …公共施設の再編は、庁内組織である「町田市公共施設等マネジメント委員会」において総合的に検討し、短期再編プログラムを計画的かつ効果的に推進していきます。
- また、再編計画に基づき、建物の更新時期を迎えつつある町田駅周辺の公共施設の複合化案を民間の資金や活力を取り入れる事業手法を踏まえ検討します。2020年度以降は、市民や事業者等に複合化案を提示し、対話を行いながらブラッシュアップしていきます。

【スケジュール】

年度	2019												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
①公共施設再編への共通理解				情報紙発行								シンポジウム	情報紙発行
	周知、宣伝・地域でのアンケートによる意見収集												
②再編の取り組みの検討		委員会開催			委員会開催		委員会開催					委員会開催	
	複合化案等の検討												

【主な事業費】

公共施設等マネジメント支援業務委託料	8,000千円
情報紙制作委託料	1,082千円
情報紙配布委託料	1,017千円

問合せ先	政策経営部 企画政策課公共施設再編担当課長 柘植野	電話	724-2103
------	---------------------------	----	----------

件名	小・中学校適正規模・適正配置等推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
12,648		0	0	0	0	12,648

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 567 ページ

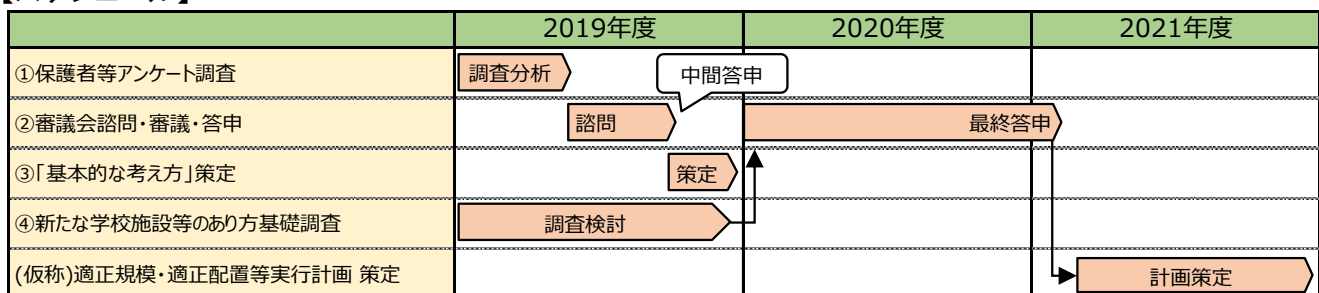
町田市の年少人口(0～14歳人口)は、2015年度に町田市未来づくり研究所が行った人口推計において、2015年から2035年までの20年間で約25%減少することが見込まれています。その場合に、市立小・中学校において学級数の減少が進行し、これまでの児童・生徒の学習環境が変化していくことが想定されます。

この年少人口が減少する将来を見据え、児童・生徒がより良い学習環境で学ぶことができるようにするために、適正規模・適正配置を推進するとともに、将来の学校における教育活動や放課後活動、地域活動などを含めた新たな学校施設のあり方を検討します。

【事業の内容】

- ①市立小・中学校における適正な学級数・通学距離等について広く意見を集めるために、児童・生徒の保護者などに対してアンケート調査を実施します。
- ②適正な学級数・通学距離とそれを実現するための具体的な方策や新たな学校施設のあり方等について検討するために、学識経験者、保護者代表、地域代表、市立小・中学校代表を構成員とする「(仮称)町田市立学校適正規模・適正配置等審議会(以下『審議会』)」を設置して諮問を行い、適正規模・適正配置の基本的な考え方について中間答申を受けます。
- ③審議会からの中間答申を受けて、教育委員会において「町田市立学校における適正規模・適正配置の基本的な考え方」を策定します。
- ④新たな学校施設のあり方を整備・管理コストも踏まえて検討するために、将来の教育活動・放課後活動・地域活動に必要な施設機能の基礎調査及びコストシミュレーションを行います。

【スケジュール】



【事業費】

- | | |
|-----------------------------|----------|
| ①②審議会運営支援・アンケート調査業務委託料 | 6,872 千円 |
| ②審議会委員報酬 | 1,024 千円 |
| ④新たな学校施設・施設管理のあり方基礎調査等業務委託料 | 4,752 千円 |

問合せ先	学校教育部 教育総務課長 田中	電話	724-2172
------	-----------------	----	----------

件名	大地沢青少年センターあり方見直し事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
7,000		0	0	0	0	7,000

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 384 ページ

大地沢青少年センターは、青少年の健全育成と市民の福祉増進を目的に 1978 年度にオープンし、これまでも恵まれた自然環境の中での野外活動や宿泊等の様々な取り組みを行ってきました。

しかし、近年の利用者数は減少傾向にあり、社会環境の変化を捉え、施設の魅力を向上し利用を促進するためには、提供するサービス(ソフト)と建物の設備(ハード)の両面から事業を見直す必要があります。

2015 年度に実施された市民参加型事業評価における「指定管理者制度導入を検討し、運営を改善するよう」にとの指摘を受け、施設管理・運営形態のあり方の見直しの取り組みを開始しました。

2017 年度には大地沢青少年センター運営委員会において、民間活力を導入した効率的・効果的な運営等について検討を行いました。2018 年度には子どもの基本施策を審議する町田市子ども・子育て会議において検討を行い、子ども・子育て会議からの市長への答申を受けて、町田市として「大地沢青少年センターのあり方」を決定しました。

これを受けて、2021 年度に民間活力を活用した大地沢青少年センター運営の開始を目指します。

【事業の内容】

市場調査等を通じて最も効果的な民間活力導入方法を決定します。

- (1) 民間活力導入計画の作成
- (2) 民間活力導入方法の提案
 - ① PPP 事業比較表作成と提案手法の選択理由 ② 収支計画書の作成(5カ年分)
 - ③ 改修計画の提案と概算費用 ④ 受託可能な候補者リストの作成
- (3) 受託者募集要項の作成

【スケジュール】

	2019年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
民間活力導入	コンサル タント業務 委託契約	民間活力導入計画の作成					募集要項作成			選定準備作業		
		民間活力導入方法の提案										
大地沢 青少年センター 運営委員会			第1回	第2回			第3回				第4回	

2020 年度 事業者決定及び事業運営準備

2021 年度 民間活力を活用した大地沢青少年センター運営実施

【事業費】

大地沢青少年センター民間活力導入支援委託料 7,000 千円

問合せ先	子ども生活部 大地沢青少年センター所長 永野	電話	782-3800
------	------------------------	----	----------

件名	おうちでごはん事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
8,950		0	3,475	0	2,800	2,675

Ⅱ 部別予算概要 370 ページ

【事業の背景・目的】

「町田市子育て支援ネットワーク連絡会レポート(子育て世帯の自立応援プロジェクト実施計画)」(2017年2月策定)では、「経済成育困難世帯」や「成育困難世帯」の特徴として、「保護者、子ども共に周囲とのつながりが少ない」、「保護者は相談相手を必要としている世帯が多い」、「親子間でのコミュニケーションの機会が少ない」ことを挙げています。

子育て世帯の中には、保護者の方が毎日の忙しさに追われてしまい、家族で一緒に過ごす時間が少なく、子どもが孤食となる家庭が増えています。また2019年1月時点で市内には7ヶ所の子ども食堂がありますが、サポートを必要としている家庭からの参加はまだ多くありません。

そこで、おうちでごはん事業を実施することにより、保護者の家事負担の軽減を図り、親子間のコミュニケーション時間を増やすとともに、利用者の相談支援体制を整え、対象世帯を地域社会につなげます。

このような事業は、多摩26市では初の試みです。

【事業の内容】

利用対象者は、児童扶養手当受給世帯の子ども(18歳未満)及びその保護者で、利用人数は80人です。利用回数は、1人あたり年間24回で、無料で利用できます。2019年4月に利用者の募集を行い、5月に利用者の決定及び事前面談を行い、6月下旬から弁当配達及び相談支援を開始します。

事業実施主体は町田市社会福祉協議会で、対象世帯への弁当配達及び相談対応に要する運営費を補助します。

【スケジュール】

	2019年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
おうちでごはん事業	募集・決定		弁当配達、相談支援実施(関係機関へのつなぎ含む)、検証									
	ふるさと納税募集、返礼品発送											

【事業費】

宅食事業補助金 8,950 千円

【特定財源】

子ども家庭支援包括補助事業費補助金(都1/2) 3,475 千円
 指定寄附金 2,000 千円
 まちだ未来づくり基金繰入金 800 千円



問合せ先	子ども生活部 子ども家庭支援センター長 田村	電話	724-4419
------	------------------------	----	----------

件名	病児・病後児保育事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
131,343		32,088	38,348	0	0	60,907

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 366 ページ

病気または病気の回復期で、他の児童との集団保育が困難な児童の病児・病後児保育を市内5施設で実施していますが、病児保育施設は忠生の1施設しかなく、施設の増設を求める声が高まっています。

それに応えるため、交通の利便性の良い町田駅近くに新たに病児保育施設を整備します。また、この施設では開所と同時に「※病児保育お迎え事業」を近隣市で初めて実施します。これにより、仕事等の都合で早退して迎えに行くことが難しい場合でも、園児の診察と保育が可能となり、病児保育施設が利用しやすくなります。

※認可保育所等で体調を崩した園児を保護者に代わって病児保育施設の職員が迎えに行く事業（要事前登録）

【事業の内容】

町田地区に新たに、お迎えサービス付き病児保育施設を整備します。

■病児・病後児保育施設一覧

施設形態	施設名	地区	定員	お迎え事業
病児保育施設	① はやしクリニック 病児保育室	忠生	4	
	新設 ② (仮称)稲垣耳鼻咽喉科医院 病児保育室	町田	4	○
病後児保育施設	病後児保育室「こすもす」(高ヶ坂ふたば保育園)	南	4	
	病後児保育室「れんげ」(かえで保育園)	塚	4	
	病後児保育室「ひまわり」(ききょう保育園)	鶴川	4	
	病後児保育室「つくし組」(小野路保育園第一分園)		4	

■(仮称)稲垣耳鼻咽喉科医院 病児保育室 概要

	病児保育施設	病児保育お迎え事業
開始日	2019年10月頃	
利用日	平日(土日祝・年末年始除く) ※2020年3月末までは、事業慣らし期間のため木曜日は利用不可。	
利用時間	8:30～18:00	9:00～15:00
対象者	1歳～小学校2年生まで	1～5歳児(市内認可保育所等通園児)
利用料金	2,000円 ※給食代等別途負担あり	2,000円 ※タクシー運賃代(1回・1往復)

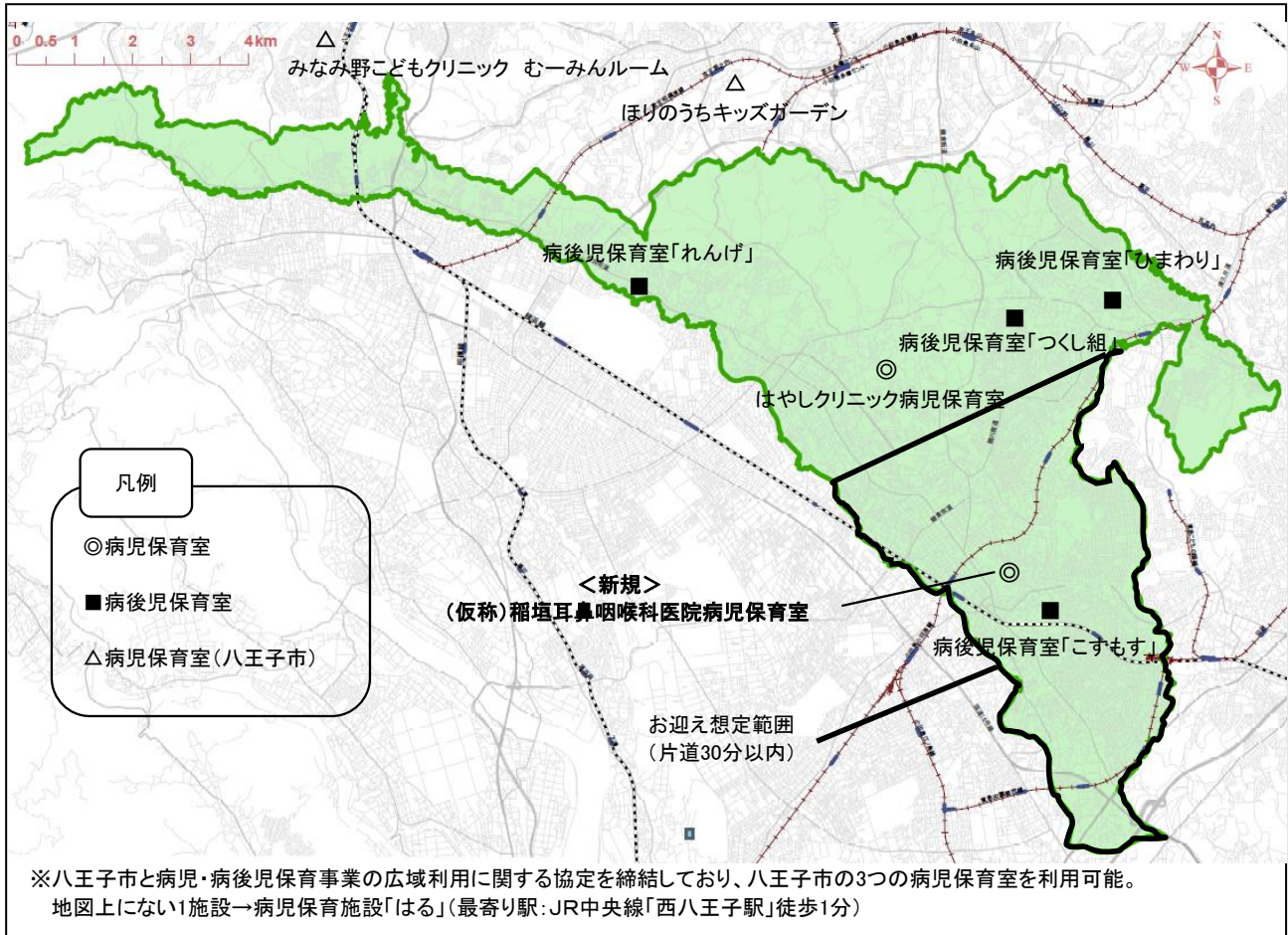
お迎え手法:タクシーに看護師が同乗、病児保育施設から概ね30分以内の登録施設へ迎えに行きます。

【主な事業費及び特定財源】

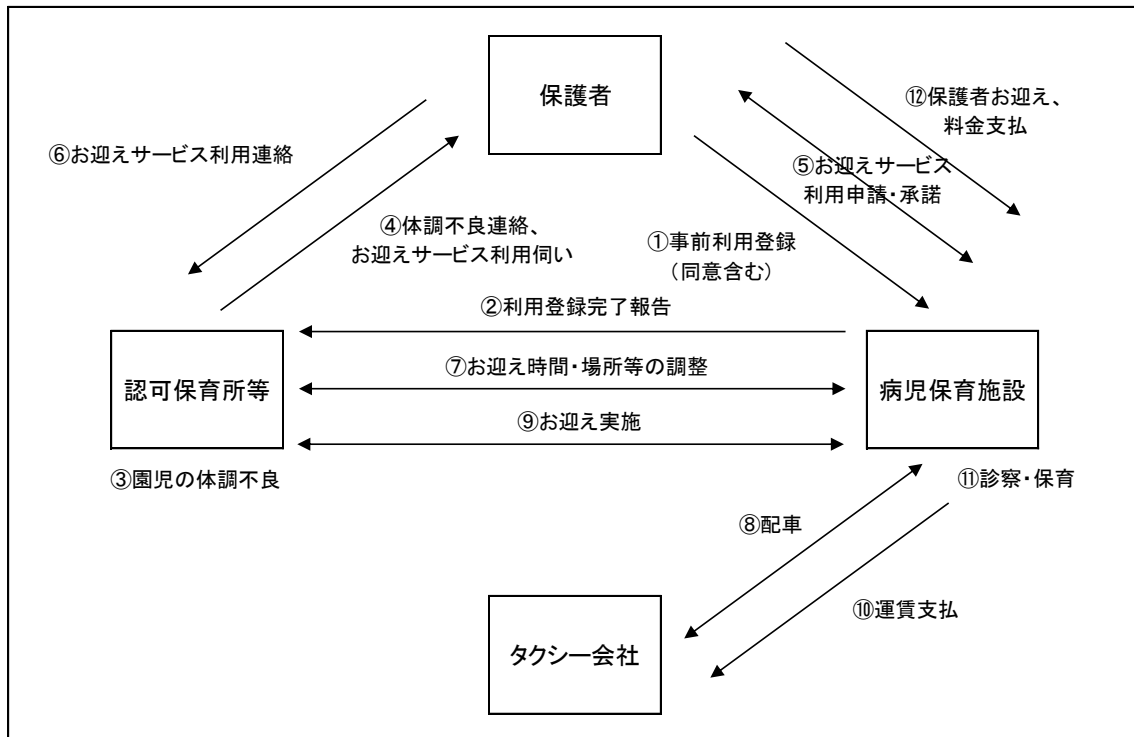
(単位:千円)

	内容	事業費	財源内訳			
			国庫補助金	都補助金	一般財源	
病児保育施設	① 病児保育事業委託料	15,396	3,111	3,601	8,684	
	新設 ②	病児保育事業委託料	15,263	3,007	4,447	7,809
		お迎え事業委託料	3,150	1,050	1,050	1,050
		病児保育施設整備費補助金	46,156	15,385	15,385	15,386
病後児保育施設	③ 病後児保育事業委託料	43,700	9,385	11,345	22,970	
合計		123,665	31,938	35,828	55,899	

■ 病児・病後児保育施設一覧



■ 「病児保育お迎え事業」利用の流れ



問合せ先	子ども生活部 子育て推進課長 鈴木	電話	724-4468
------	-------------------	----	----------

件名		学校給食費公会計化事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
17,781		0	0	0	0	17,781

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 131、582 ページ

町田市立小学校の給食費は、学校長が徴収・管理を行う「私会計」として管理し、小学校 42 校中 31 校が口座振替、11 校は保護者の協力を得て現金で集金を行っています。食材購入は栄養士が行い、校内の給食費の取りまとめや食材費の支払い等は教員・事務職員・副校長などが行っています。

現金で集金を行っている学校では、保護者が学校に出向いて集金を行うことが負担となっています。また、口座振替を行っている学校では、小学校で指定した金融機関に限定され、金融機関を自由に選ぶことが出来ないという不便さが課題となっています。教員についても、給食費の徴収・管理が精神的負担になっていることや、教員の本来業務である授業準備や教材研究に向かう時間を圧迫していることが課題となっています。

これらの課題を解消して保護者・教員の負担軽減を図るために、2020 年 4 月から小学校の給食費を市の予算に計上して徴収・管理する「公会計」に移行し、安定的な給食提供を目指します。

【事業の内容】

- ・学校長が徴収・管理していた給食費を、2020 年 4 月から市が徴収・管理を行うため、「給食費公会計システム」を導入します。そのため、2019 年 4 月から 2020 年 3 月にかけて、システムの構築を行います。
- ・2019 年 6 月から、公会計化に関する保護者向けのお知らせを配布し、市が口座振替を行うための準備を進めてまいります。

【スケジュール】

区分	2019年度												2020年度	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
システム構築	プロポーザル		給食費公会計システムの構築									テスト		公会計化
保護者周知			周知、口座振替用紙(在校生)配布						(新1年生)配布					
口座振替									口座振替用紙の提出(保護者)					
									口座情報の登録(市)					

【主な事業費】

給食費公会計システム導入委託料	16,775 千円
印刷製本費	956 千円

問合せ先	学校教育部 保健給食課長	有田	電話	724-2177
	総務部 情報システム課長	黒澤		724-4432

件名		教員の働き方改革推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
146,599			0	110,209	0	201

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 567、582 ページ

町田市立小・中学校の教員を対象に2018年度に実施した勤務実態調査では、1カ月あたり平均時間外在校時間について、過労死ラインとされる80時間を超える教員が全体の24.3%(約4人に1人)を占めており、教員の長時間労働は教育活動の質に関わる重大な課題となっています。

この課題に対して、教員が担う業務の縮減・適正化、授業準備や教材研究等に注力できる体制整備を進めて、教員のライフ・ワーク・バランスを確立して教育の質を向上させるために「町田市立小・中学校における働き方改革プラン(以下『働き方改革プラン』)」を2019年2月に策定しました。この働き方改革プランで掲げる取り組みを着実に実行することで、教員の働き方改革を推進します。

【事業の内容】

2019年度は、教員の負担を軽減するために、下記の取り組みを行います。

取り組み項目		2019年度 取り組み内容
①	副校長補佐の配置 【継続】	多忙化している副校長を補佐し、調査・報告、サービス管理、施設管理などを行う「副校長補佐」について、2018年度からモデル事業を実施している11校に引き続き配置します。
②	スクール・サポート・スタッフの配置 【拡充】	教員が担うべき事務を補助し、学習プリント等の印刷・配布準備、授業準備などを行う「スクール・サポート・スタッフ」について、2018年度の26校から副校長補佐を配置していない51校に拡充します。
③	部活動指導員の配置 【拡充】	中学校教員の部活動にかかる負担を軽減するとともに、専門的な技術指導による部活動の充実を図るために、教員に代わって大会等への引率も含めて部活動の指導を行う「部活動指導員」について、2018年度の20人から30人に拡充します。
④	スクール・ロイヤー※の導入 【新規】	いじめ問題や学校事故などの学校で発生する問題について、法的側面から早期対応、解決及び未然防止を図るために「スクール・ロイヤー」を導入します。
⑤	学校給食費の公会計移行準備 【新規】 (学校給食費公会計化事業の再掲)	小学校給食にかかる保護者及び教員の負担を軽減するために、2020年4月の学校給食費の公会計移行に向けた準備を行います。

※スクールロイヤー…学校で発生する問題について、教育や福祉等の視点を取り入れながら、法的観点から継続的に学校に助言を行う弁護士のこと。

【主な事業費】

【主な特定財源】

①副校長補佐報酬	18,388 千円	①学校マネジメント強化事業費補助金	
②スクールサポートスタッフ賃金	68,000 千円	(都 10/10)	18,459 千円
③部活動指導員報酬	28,896 千円	②スクールサポートスタッフ配置事業費補助金	
④スクールロイヤー業務委託料	2,420 千円	(都 10/10)	72,486 千円
⑤給食費公会計システム導入委託料	16,775 千円	③部活動指導員活動事業費補助金	
※学校給食費公会計化事業の再掲		(都 2/3)	19,264 千円

問合せ先	学校教育部	教育総務課長	田中	電話	724-2172
		指導課長	金木		724-2154
		保健給食課長	有田		724-2177

件名	小・中学校体育館空調設備設置事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
99,495		0	0	49,000	0	50,495

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 570、571 ページ

2018年の夏季は、著しく気温の上昇した日が続き、市内の小中学校では児童・生徒の熱中症対策のため、体育館での授業や部活動、一学期の終業式や二学期の始業式を見合わせなければならないなど、教育活動に影響が生まれました。また、災害時に地域住民が小中学校の体育館に避難することを想定すると、熱中症の発症が懸念される厳しい環境です。

小中学校の体育館への空調設備の設置について、国の従来の補助制度に加え、2019年度に東京都が公立小中学校の体育館への空調設置を促進するために補助制度(2021年度まで)を創設しました。

この国と東京都の補助制度を最大限活用し、2021年度までに小中学校62校の体育館に空調設備を設置し、児童・生徒の熱中症対策と教育環境の改善及び避難施設の環境整備を図ります。

【事業の内容】

○2019年度 中学校全20校と小学校7校の体育館空調設備設置実施設計を行う。

小学校内訳 医療拠点3校：成瀬台小、大蔵小、相原小

救護連絡所4校：町二小、南大谷小、小川小、忠三小

○2020年度 中学校全20校と小学校7校の体育館空調設備設置工事及び小学校35校の体育館空調設備設置実施設計を行う。

○2021年度 小学校35校の体育館空調設備設置工事を行う。

【スケジュール】

	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
	8	12	4	8	12	4	8	12
基本設計委託								
中学校全20校 実施設計委託				20校				
設置工事					20校			
小学校全42校 実施設計委託				7校		35校		
設置工事					7校		35校	

【事業費】

実施設計委託料 99,495 千円

【特定財源】

学校施設整備事業債 49,000 千円

問合せ先	学校教育部 施設課長 浅沼	電話	724-2174
------	---------------	----	----------

件名	総合体育館映像装置整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
174,350		0	0	125,000	8,000	41,350

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 225 ページ

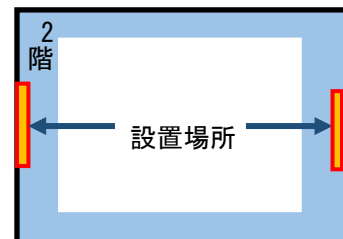
町田市スポーツ推進計画では、目指す将来の姿「スポーツで人とまちが一つになる」の実現に向け、「する」「みる」「支える」スポーツの観点から各種施策を展開しています。具体的な事業を定めるアクションプランでは、「競技スポーツの場の整備」として、競技スポーツの大会が開催できるように施設整備を行うことを掲げています。

現在、総合体育館は、町田市体育協会による市民大会、全国及び関東私立高等学校男女バレーボール選手権大会、パラバドミントン国際大会、ブラインドサッカー国際大会、ASV ペスカドーラ町田のリーグ等の大規模大会の会場として利用されています。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの際には、インドネシアや中国のチームが、事前キャンプ地としてメインアリーナを利用する予定です。

そこで、メインアリーナに大型映像装置を設置し、アマチュアスポーツからトップスポーツの大会まで、実況中継やリプレイを放映することにより、会場の一体感の醸成や更なる盛り上げに効果を発揮します。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向け、パブリックビューイングの開催、海外チームとの交流イベントや大規模大会のセレモニーの放映等を行うことで、オリンピック・パラリンピック開催に向けた気運醸成を図ります。本事業については、ふるさと納税を活用することで、寄附者の賛同を得ながら実施します。



設置イメージ
(長崎県大村市シーハット大村)



【事業の内容】

メインアリーナ 2 階部分の壁面に、左右対称に 2 基設置します。

- ・画面サイズ：5,280(W) × 2,880(H)mm(236.8 インチ)
- ・素子構成・LED ピッチ：高輝度フルカラー・6mm

【スケジュール】

	2018 年度	2019 年度 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月
整備の流れ	躯体調査	発注準備	入札契約	設計	製造			工事		● 除幕式	
							● 条例改正			● 供用開始	

【事業費】

【特定財源】

整備工事費	167,000 千円	体育施設整備事業債	125,000 千円
製作委託料(返礼品製作)	4,200 千円	指定寄附金	8,000 千円
事業・業務委託料(除幕式実施)	3,000 千円		
配送・運搬委託料(返礼品配送)	150 千円		

問合せ先	文化スポーツ振興部 スポーツ振興課長 石田	電話	724-4036
------	-----------------------	----	----------

件 名	鉄道駅ホームドア整備補助事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
10,000		0	5,000	0	0	5,000

Ⅱ 部別予算概要 490 ページ

【事業の背景・目的】

鉄道駅のホームドアは、国土交通省が所管する「駅ホームにおける安全性向上のための検討会」の2016年12月の中間とりまとめにおいて、乗降者数10万人以上の駅では、概ね5年を目処に整備又は整備に着手するものとされています。そこで該当となる小田急線町田駅、JR横浜線町田駅の安全性向上のため鉄道駅ホームドアを整備します。

【事業の内容】

小田急線町田駅は1～4番線全て、JR横浜線町田駅は1番線の整備を行います。2019年度は、小田急線町田駅の2番線ホームの補強工事に着手します。

東京都が2011年6月に策定した「東京都鉄道駅総合バリアフリー推進事業費補助金交付要綱」において、整備にあたっては事業者・国・地方自治体(都・市区町村)がそれぞれ1/3ずつ事業費を負担することが求められています。地方自治体負担分1/3は、都と町田市でそれぞれ半分ずつ負担します(市負担は事業費の1/6)。

【スケジュール】

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
小田急線 町田駅	2番線ホーム補強工事 →	1,3番線ホーム補強工事 →	4番線ホーム補強工事 →	2,3番線 使用開始 ●	1,4番線 使用開始 ●
JR横浜線 町田駅		1番線ドア 本体費、設置工事 → ●	1番線使用開始 ●		

【事業費】

鉄道駅ホームドア整備事業補助金 10,000 千円

【特定財源】

東京都鉄道駅総合バリアフリー推進事業費補助金(都1/2) 5,000 千円

問合せ先	都市づくり部 交通事業推進課長 岩岡	電話	724-4260
------	--------------------	----	----------

件名	考古・歴史・民俗資料活用事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
5,619		0	0	0	1,501	4,118

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 603 ページ

2019年6月の町田市立博物館閉館を機に、町田市の持つ優れた考古・歴史・民俗資料を一体的に管理し、新たな活用策を展開します。

具体的には、考古・歴史・民俗資料を360度の全方位から立体的に見ることができるよう、3D写真等で撮影したデジタル画像と、資料のわかりやすい説明を併せて掲載する「町田デジタルミュージアム」を構築します。これにより、「町田市の歴史」という観点で編集した資料を、旧石器時代から現代までをわかりやすく公開し、インターネットを通じて時間や場所を選ばずに文化財に触れられる機会を創出します。

また、「町田デジタルミュージアム」の構築と同時に、小・中学校におけるICTを使用した授業での活用や、実物資料を中長期的に学校へ貸し出すなど、考古・歴史・民俗資料の更なる活用方法も検討・実施します。

さらに、民間施設（ホテル、駅、大型商業施設等）への資料の貸出も検討・実施していきます。

【事業の内容】

1 町田デジタルミュージアムの構築

考古・歴史・民俗資料について、指定文化財等を中心に、3Dまたは2D写真の撮影を行い、デジタル化したデータを「町田デジタルミュージアム」で順次公開します。

2 更なる活用方法の検討

小・中学校の授業での活用や、学校や民間施設等貸出先についてなど、活用方法の検討を開始します。

3 収蔵環境の整理

(1) 考古資料室、旧忠生第六小学校等の整理を行い、資料の保管場所を確保します。

(2) これまでの資料の収集方針を見直すとともに、新たな活用方法を実施することにより、市で保管すべき資料を整理します。

【スケジュール】

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
デジタルミュージアム構築	歴史資料分構築 → 公開	考古資料分構築 → 公開	考古・民俗資料分構築 → 公開	●公開
	歴史コンテンツ編集			
更なる活用方法の検討	活用方法の検討		●活用開始	
収蔵環境整理	収集方針再検討 保管場所確保	資料の整理 資料の移動準備	資料移動	●活用開始

【主な事業費】

システム導入委託料 1,784 千円
 (2019～2021年度債務負担行為事業 総事業費 26,314 千円)
 収集・処分等委託料 3,259 千円

【特定財源】

図書館振興財団助成金 1,501 千円

問合せ先	生涯学習部 生涯学習総務課長 佐藤	電話	724-2554
------	-------------------	----	----------